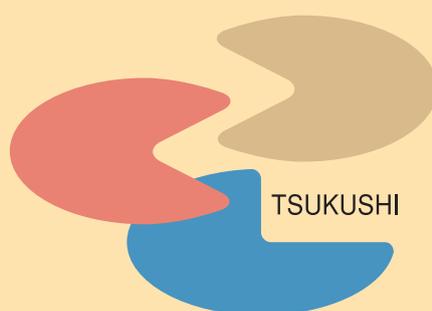


医療法人つくし会 年報

令和2年度
(2020年度)



南 国 病 院

訪問看護ステーションおおそね

目 次

理事長ご挨拶 中澤宏之	1
-------------------	---

臨 床

外来部門	3
地域連携・医療相談室	6
病棟部門	7
精神科作業療法室	13
薬剤課	14
医療安全対策室	16
薬剤耐性菌検出率の推移	18
MRSA 保菌率の推移	19
検体別検出細菌数	20
褥瘡患者数の推移	22
栄養課	26
在宅医療支援センター	29
通所リハビリテーション室	
精神科デイケア室	
訪問看護ステーションおおそね	

教 育

実習受け入れ状況	34
院内学術研修会	37
院内看護部研修会	39
看護部チーム会活動の振り返り	40

業 績

業績	44
編集後記	45

ご 挨拶



**医療法人つくし会 理事長
南国病院 院長 中澤宏之**

大変遅くなりましたが、令和2年度医療法人つくし会年報が完成しましたので、令和2年度を振り返って一言ご挨拶を申し上げます。令和2年度は先が見通せないコロナ禍で診療や日常生活に一定の制約を強いられながら、新しい働き方と生活様式に適応した一年であったと思います。

令和2年度の終わりに県内でコロナ第4波が始まり、ワクチン接種も各地で開始されました。有効な治療薬がない中で手探りの対症療法を行い、予防と行動自粛が中心の一年でした。大勢が集まる行事は軒並み中止または延期となり、当院でも恒例の開院51周年記念院内発表会や秋の地域オープンセミナーは中止となりました。学会や講演会はWeb開催が主流となり、かえって学習の機会は広がったと思います。私自信、心を新たにして9ヶ月間の経営者塾をオンラインで受講しました。一番の学びは、強いビジョン発信の大切さ、チームパフォーマンスを高めるための努力を惜しまないこと、トップ自ら情熱を持って行動し続けることでした。

経営の質と医療の質の向上は両立できると確信し、正確な財務分析を続けながら、一人でも多くの方に外来・入院医療を提供するという思いで外来患者数、入院稼働率、各部門の利用率を上げていきたいと思っております。

また、令和2年度の新型コロナウイルス感染拡大は、局所的な病床・人材不足の発生、感染症対応を含めた医療機関間の役割分担・連携体制の弱さ、感染防護具や人工呼吸器等の医療資源の確保困難・備蓄不足など、地域医療の様々な課題が浮き彫りになりました。日常の医療提供体制を見直すきっかけとなり、改めて地域の基幹病院、かかりつけ医、介護施設との連携の大切さを実感しました。当院でも神経疾患、精神疾患の入院依頼が増える一方、他院への転院、介護施設への入所が困難な状況にも直面しました。どの医療機関、介護施設とも感染対策に敏感になっており、救急医療以外は自院での医療完結を求められたような気がします。

令和2年度は新たに10名の新規採用者をお迎えすることができました。医療従事者の確保が難しい情勢の中、沢山の専門職の方々が当院を選んで下さり本当に嬉しく思っています。当院は、患者ファーストで努力・向上できる人材、多職種間のコミュニケーションと協力体制、女性医師の働きやすい環境整備、ワーク・ライフ・バランスの充実を大切にしていますが、新たな仲間達もそれぞれの部署で生き生きと活躍して下さると信じています。当院は今後も、断らない神経難病医療と長期ケアの充実、精神科医療の専門性強化、在宅医療の拡大に努めてまいります。

令和2年度の当法人の活動を年報にまとめましたので、日頃お世話になっている関係機関

の皆様にお届けいたします。お忙しいとは存じますがどうぞご笑覧下さい。皆様との連携、協力によりコロナ禍の厳しい医療情勢に対応し地域に貢献できるよう、職員一同努力してまいりますので今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和4年5月5日



臨床

外来部門

1) 年間外来患者数の推移

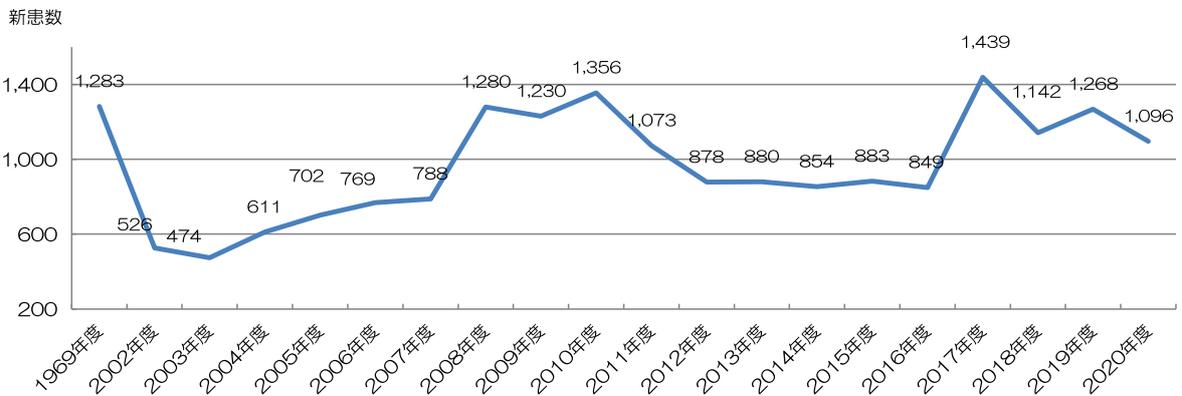
新患数（実数）と外来患者総数

() 内は、月平均患者数

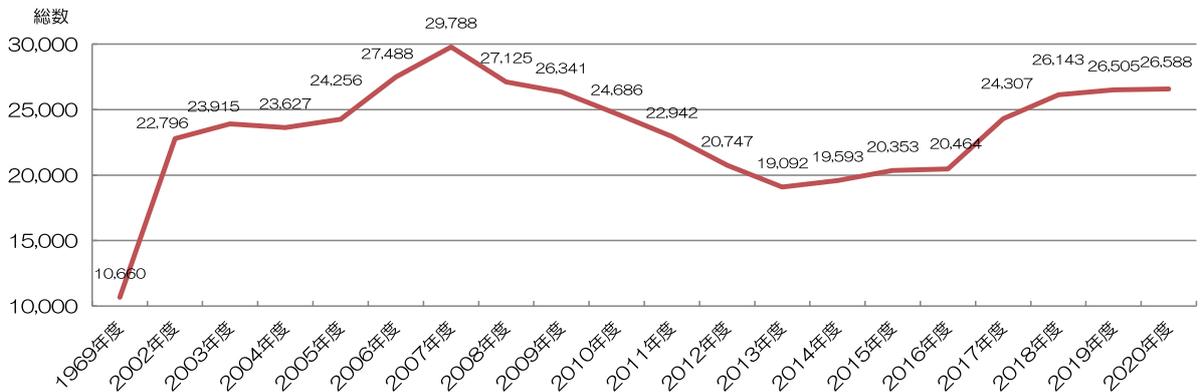
患者数		年度									
		1969年度 S44年度	2002年度 H14年度	2003年度 H15年度	2004年度 H16年度	2005年度 H17年度	2006年度 H18年度	2007年度 H19年度	2008年度 H20年度	2009年度 H21年度	2010年度 H22年度
年間	新患数	1,283 (106.9)	526 (43.8)	474 (39.5)	611 (50.9)	702 (58.5)	769 (64.1)	788 (65.7)	1,280 (106.7)	1,230 (102.5)	1,356 (113.0)
	総数	10,660 (888.2)	22,796 (1899.7)	23,915 (1992.9)	23,627 (1968.9)	24,256 (2021.3)	27,488 (2290.7)	29,788 (2482.3)	27,125 (2260.4)	26,341 (2195.1)	24,686 (2057.2)

患者数		年度									
		2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
年間	新患数	1,073 (89.4)	878 (73.2)	880 (73.3)	854 (71.2)	883 (73.6)	849 (70.8)	1,439 (119.9)	1,142 (95.2)	1,268 (105.7)	1,096 (91.3)
	総数	22,942 (1911.8)	20,747 (1728.9)	19,092 (1591.0)	19,593 (1632.8)	20,353 (1696.1)	20,464 (1705.3)	24,307 (2025.6)	26,143 (2178.6)	26,505 (2208.8)	26,588 (2215.7)

外来新患数の推移



外来患者総数の推移

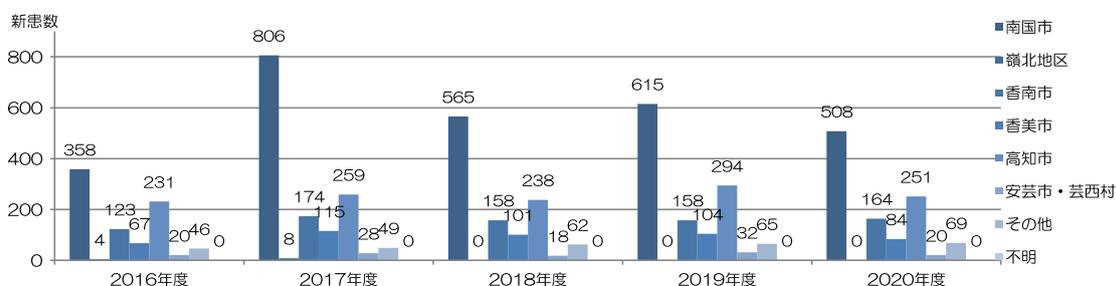


2) 診療科・疾患群別外来患者数（新患）の推移

診療科・疾患群	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
脳神経内科					
脳血管障害	17	6	12	12	5
筋萎縮性側索硬化症	6	0	5	5	8
パーキンソン病関連疾患	21	20	23	24	26
多系統萎縮症	3	3	4	3	1
脊髄小脳変性症	5	1	3	2	0
その他の神経変性疾患	3	8	15	17	17
アルツハイマー病	48	52	44	43	36
血管性認知症	4	5	2	2	4
その他の認知症	5	5	2	7	1
免疫関連中枢神経疾患	3	0	0	0	0
末梢神経疾患	1	0	3	5	0
筋疾患	7	3	1	1	0
神経感染症、脳症	2	1	0	0	1
てんかん	5	3	1	4	6
中毒性神経疾患	0	0	0	0	0
内科疾患、代謝性疾患に伴う神経障害	2	2	4	5	1
その他	45	70	62	58	39
小 計	177	179	181	188	145
精神科					
統合失調症	10	7	11	24	22
躁うつ病	10	7	3	11	6
てんかんと近縁疾患	1	0	2	2	1
非定型精神病	0	0	0	0	0
神経症（心因反応）、うつ病、うつ状態	123	116	129	154	159
アルコール関連精神障害	3	6	3	5	3
認知症、脳器質性精神障害	35	31	39	81	81
知的障害	5	25	24	23	27
その他	45	26	39	44	49
小 計	232	218	250	344	348
消化器内科					
上部消化管疾患（食道・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など）	22	36	23	21	22
下部消化管疾患（大腸ポリープ・大腸癌・痔核など）	11	13	13	10	18
肝臓疾患・胆膵疾患	1	15	5	14	13
高血圧	6	363	18	39	18
糖尿病	0	38	10	11	2
脂質異常症	2	25	7	7	10
外科的疾患（腰痛症・頸肩腕症候群・外傷・褥瘡など）	24	12	31	41	42
呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常	124	174	226	208	119
その他	250	366	378	385	359
小 計	440	1,042	711	736	603
合 計	849	1,439	1,142	1,268	1,096

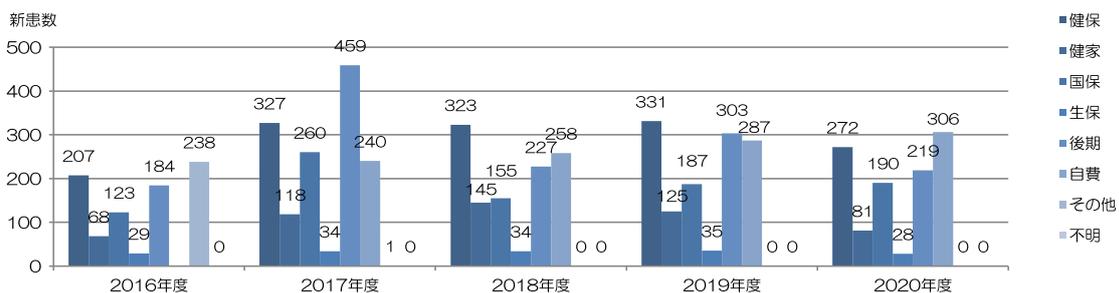
3) 居住地別外来患者数（新患）の推移

居住地	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
南国市	358 42.2%	806 56.0%	565 49.5%	615 48.5%	508 46.4%
嶺北地区	4 0.5%	8 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
香南市	123 14.5%	174 12.1%	158 13.8%	158 12.5%	164 15.0%
香美市	67 7.9%	115 8.0%	101 8.8%	104 8.2%	84 7.7%
高知市	231 27.2%	259 18.0%	238 20.8%	294 23.2%	251 22.9%
安芸市・芸西村	20 2.4%	28 1.9%	18 1.6%	32 2.5%	20 1.8%
その他	46 5.4%	49 3.4%	62 5.4%	65 5.1%	69 6.3%
不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	849	1,439	1,142	1,268	1,096



4) 保険種別外来患者数（新患）の推移

保険	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
健保(含、共済)	207 24.4%	327 22.7%	323 28.3%	331 26.1%	272 24.8%
健家	68 8.0%	118 8.2%	145 12.7%	125 9.9%	81 7.4%
国保	123 14.5%	260 18.1%	155 13.6%	187 14.7%	190 17.3%
生保	29 3.4%	34 2.4%	34 3.0%	35 2.8%	28 2.6%
後期	184 21.7%	459 31.9%	227 19.9%	303 23.9%	219 20.0%
自費	238 28.0%	240 16.7%	258 22.6%	287 22.6%	306 27.9%
その他	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	849	1,439	1,142	1,268	1,096



地域連携・医療相談室

2020年度

外来：関わった数						3234 名					
業務内容	面接	電話	文書	代行	計	業務内容	面接	電話	文書	代行	計
受診相談・援助	62	470	89	0	621	自立支援医療 障害者手帳(精神)	355	345	632	0	1332
入院相談・援助	130	722	96	0	948	障害者手帳(身体)	8	26	11	0	45
就労相談	26	54	7	0	87	障害年金(精神)	115	232	144	0	491
施設入所相談	14	80	13	0	107	障害年金(身体)	6	2	3	0	11
住宅相談	0	4	0	0	4	福祉サービス(精神)	9	51	57	0	117
経済問題相談	9	37	7	0	53	福祉サービス(身体)	1	6	9	0	16
病調調整	2	33	3	0	38	療養上の問題調整	71	353	26	0	450
家族問題調整	5	23	1	0	29	情報処理	112	458	91	0	661
装具申請相談	1	2	5	0	8	ケース会(院内)	5	1	4	0	10
介護保険関連業務	48	286	485	0	819	ケース会(院外)	0	0	0	0	0
難病関連業務	36	104	39	0	179	認知症初期集中支援 チーム会	12	0	12	0	24
日常生活援助	27	99	9	0	135	各種会議等	1	0	0	0	1
権利擁護	4	11	2	0	17	その他	7	20	10	0	37
心的・情緒的援助	74	64	0	0	138						
医療系サービス調整	41	366	62	0	469		1181	3849	1817	0	6847
入院：関わった数						3525 名					
業務内容	面接	電話	文書	代行	計	業務内容	面接	電話	文書	代行	計
受診相談・援助	45	163	43	1	252	医療系サービス調整	45	160	15	0	220
転院相談・援助	51	396	63	0	510	退院前訪問	36	20	22	0	78
任意入院(継続含)	83	22	93	0	198	介護支援等連携指導	43	30	61	1	135
医療保護入院	170	141	353	0	664	自立支援医療 障害者手帳(精神)	38	29	42	3	112
退院相談	287	835	35	1	1158	障害者手帳(身体)	5	2	5	0	12
就労相談	4	8	2	0	14	障害年金(精神)	25	34	16	0	75
施設入所相談	330	945	154	1	1430	障害年金(身体)	0	0	0	0	0
住宅相談	60	89	2	1	152	福祉サービス(精神)	24	34	17	1	76
経済問題相談	119	140	23	6	288	福祉サービス(身体)	0	4	0	0	4
病調調整	2	7	2	0	11	療養上の問題調整	184	440	41	0	665
家族問題調整	43	75	1	0	119	情報処理	360	442	197	0	999
装具申請相談	2	7	1	0	10	ケース会(院内)	260	118	85	0	463
介護保険関連業務	115	392	179	14	700	ケース会(院外)	2	2	1	0	5
難病関連業務	28	79	33	0	140	各種会議等	54	11	97	0	162
日常生活援助	252	359	38	6	655	その他	7	27	4	0	38
心的・情緒的援助	310	98	1	0	409		2984	5109	1626	35	9754
措置診察					15	延べ人数	6774 名	延べ件数			16601 名

病棟部門

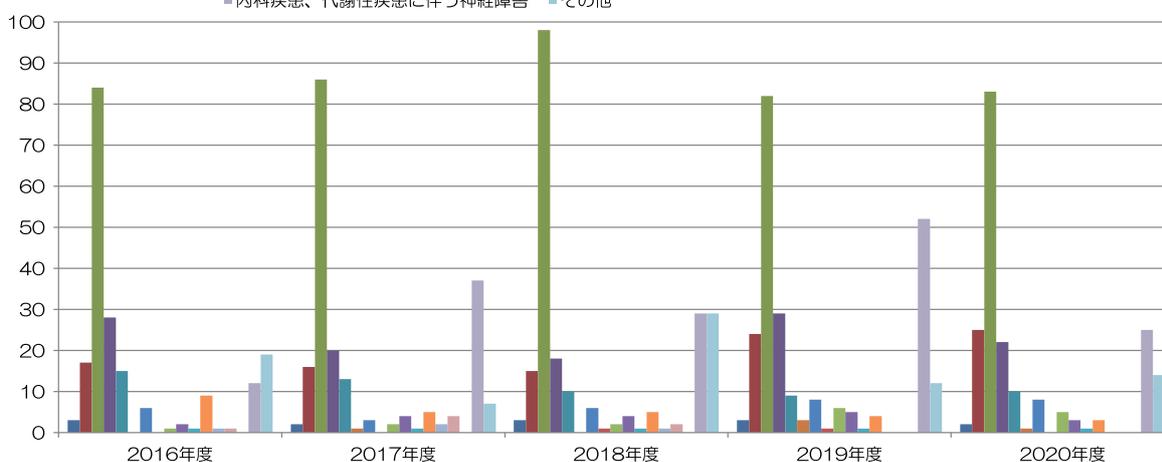
1) 特殊疾患病棟・医療療養病棟（2・3病棟）の推移

疾患群別患者数

疾患群	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
脳血管障害	3	2	3	3	2
筋萎縮性側索硬化症	17	16	15	24	25
パーキンソン病関連疾患	84	86	98	82	83
多系統萎縮症	28	20	18	29	22
脊髄小脳変性症	15	13	10	9	10
その他の神経変性疾患	0	1	0	3	1
アルツハイマー病	6	3	6	8	8
血管性認知症	0	0	1	1	0
その他の認知症	1	2	2	6	5
免疫関連性中枢神経疾患	2	4	4	5	3
末梢神経疾患	1	1	1	1	1
筋疾患	9	5	5	4	3
神経感染症、脳症	1	2	1	0	0
てんかん	1	4	2	0	0
中毒性神経疾患	0	0	0	0	0
内科疾患、代謝性疾患に伴う神経障害	12	37	29	52	25
その他	19	7	29	12	14
合計	199	203	224	239	202



疾患群別患者数



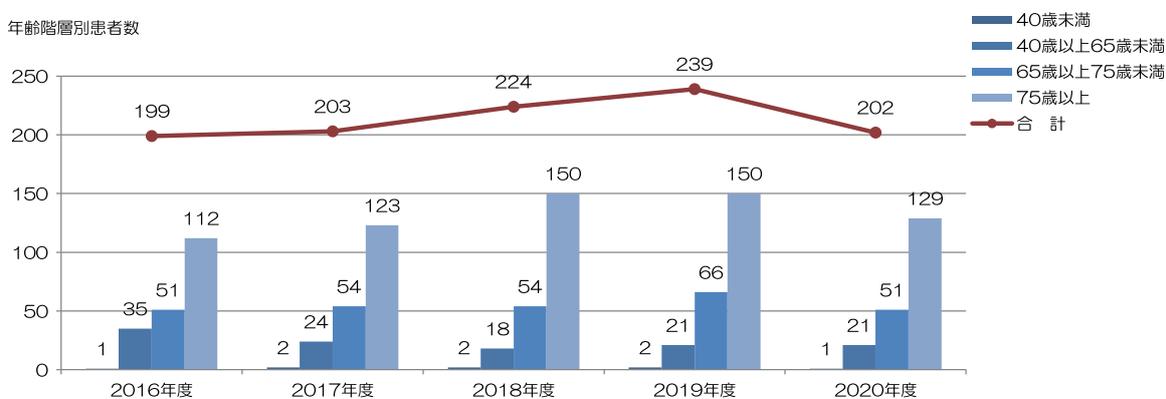
注: 全102床

注: 2014. 4. 1~2015. 6. 30は、2病棟・3病棟共に医療療養病棟

年齢階層別患者数

年 齢	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
40歳未満	1	2	2	2	1
40歳以上65歳未満	35	24	18	21	21
65歳以上75歳未満	51	54	54	66	51
75歳以上	112	123	150	150	129
合 計	199	203	224	239	202

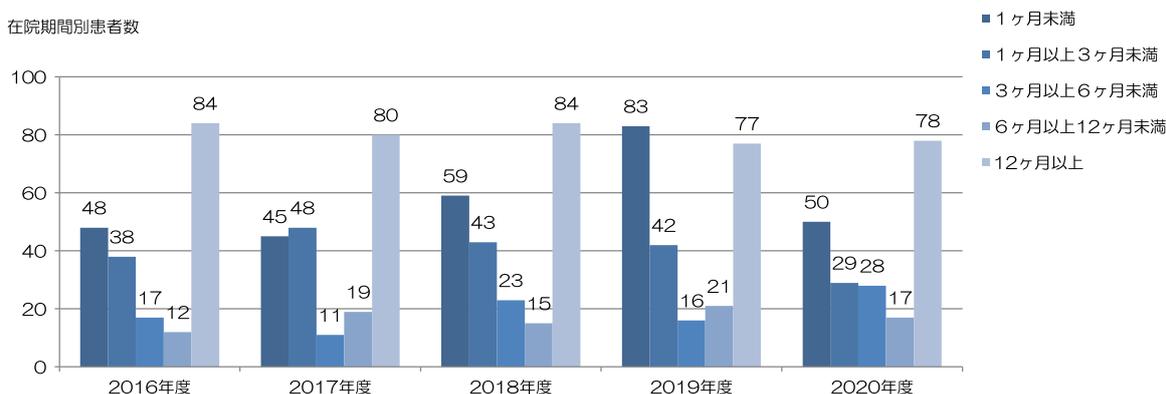
年齢階層別患者数



在院期間別患者数

在 院 期 間	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
1ヶ月未満	48	45	59	83	50
1ヶ月以上3ヶ月未満	38	48	43	42	29
3ヶ月以上6ヶ月未満	17	11	23	16	28
6ヶ月以上12ヶ月未満	12	19	15	21	17
12ヶ月以上	84	80	84	77	78
合 計	199	203	224	239	202

在院期間別患者数

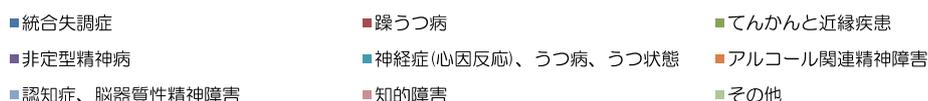


2) 精神科病棟（5病棟）の推移

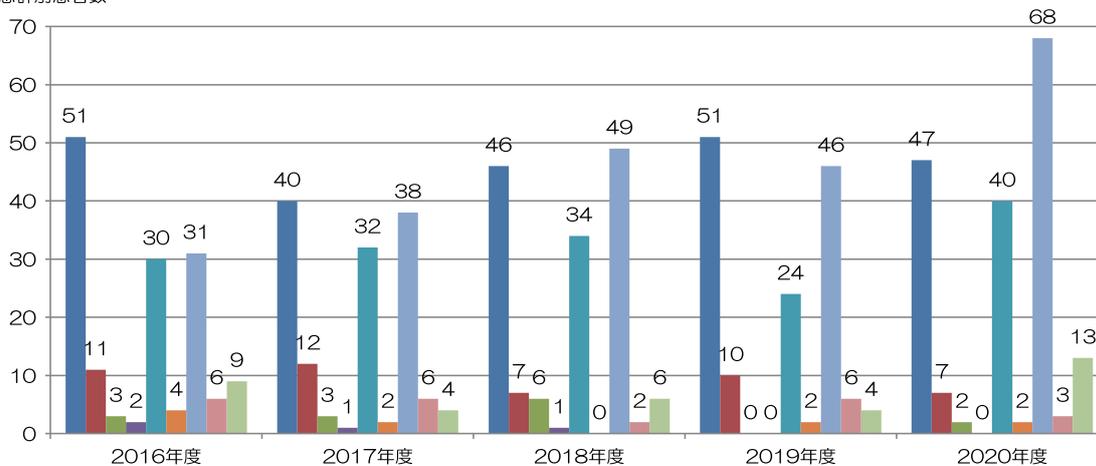
疾患群別患者数

疾患群	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
統合失調症	51	40	46	51	47
躁うつ病	11	12	7	10	7
てんかんと近縁疾患	3	3	6	0	2
非定型精神病	2	1	1	0	0
神経症(心因反応)、うつ病、うつ状態	30	32	34	24	40
アルコール関連精神障害	4	2	0	2	2
認知症、脳器質性精神障害	31	38	49	46	68
知的障害	6	6	2	6	3
その他	9	4	6	4	13
合 計	147	138	151	143	182

注:全60床



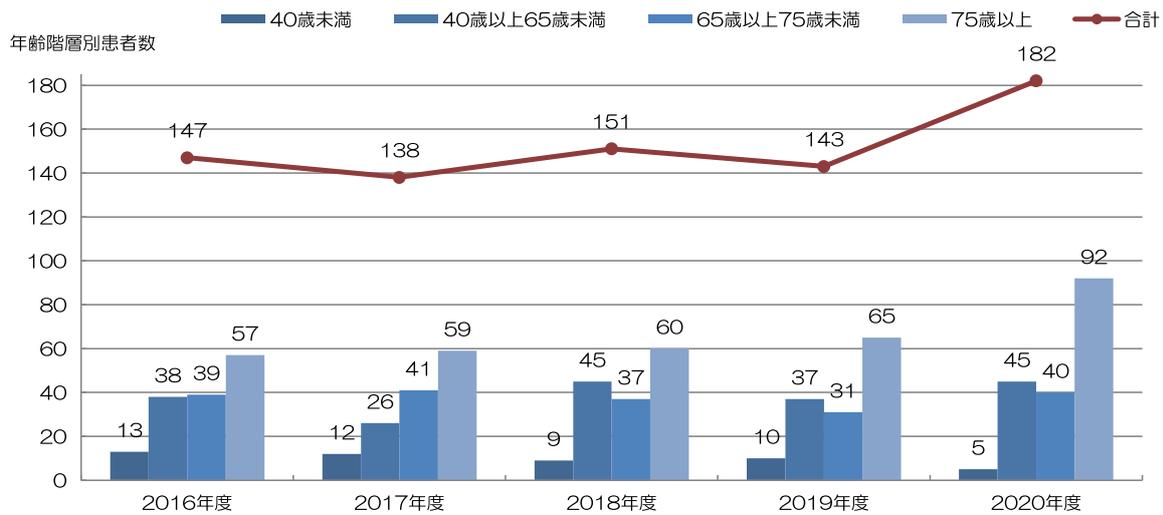
疾患群別患者数



年齢階層別患者数

年 齢	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
40歳未満	13 (7/ 6)	12 (5/ 7)	9 (1/ 8)	10 (6/ 4)	5 (2/ 3)
40歳以上65歳未満	38 (25/13)	26 (18/ 8)	45 (24/21)	37 (15/22)	45 (17/28)
65歳以上75歳未満	39 (13/26)	41 (14/27)	37 (12/25)	31 (17/14)	40 (24/16)
75歳以上	57 (21/36)	59 (19/40)	60 (23/37)	65 (21/44)	92 (28/64)
合 計	147 (66/81)	138 (56/82)	151 (60/91)	143 (59/84)	182 (71/111)

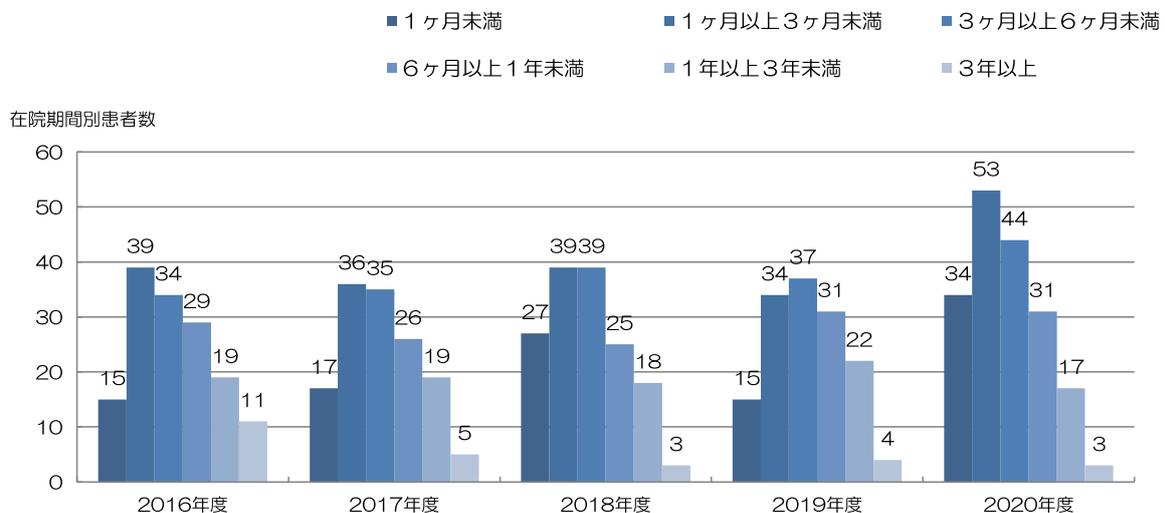
(/) 内は、男/女の数



在院期間別患者数

在院期間	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
1ヶ月未満	15 (10/ 5)	17 (14/ 3)	27 (15/12)	15 (4/11)	34 (21/13)
1ヶ月以上3ヶ月未満	39 (25/14)	36 (24/12)	39 (24/15)	34 (18/16)	53 (23/30)
3ヶ月以上6ヶ月未満	34 (22/12)	35 (20/15)	39 (24/15)	37 (20/17)	44 (24/20)
6ヶ月以上1年未満	29 (16/13)	26 (15/11)	25 (8/17)	31 (15/16)	31 (19/12)
1年以上3年未満	19 (8/11)	19 (9/10)	18 (11/ 7)	22 (11/11)	17 (11/ 6)
3年以上	11 (5/ 6)	5 (1/ 4)	3 (2/ 1)	4 (2/ 2)	3 (1/ 2)
合計	147 (86/61)	138 (83/55)	151 (84/67)	143 (70/73)	182 (99/83)

(/) 内は、任意/医療保護別、患者数



3) 精神科病棟（5病棟）入退院患者数の推移

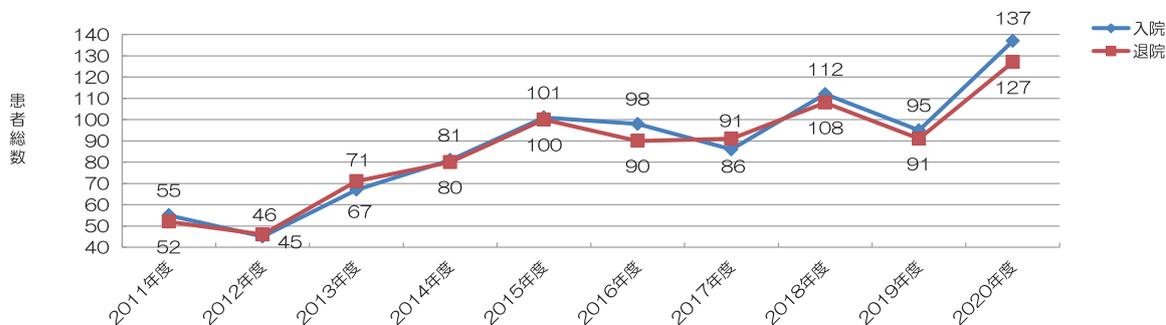
月別

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	月平均
2011年度	3	10	3	6	6	4	5	2	4	2	3	7	55	4.6
H23年度	(4)	(4)	(2)	(6)	(9)	(3)	(2)	(2)	(8)	(2)	(1)	(9)	(52)	(4.3)
2012年度	7	2	2	2	7	3	2	2	1	3	5	9	45	3.8
H24年度	(5)	(2)	(5)	(2)	(5)	(1)	(3)	(3)	(5)	(6)	(7)	(2)	(46)	(3.8)
2013年度	8	4	8	6	9	3	2	6	8	6	3	4	67	5.6
H25年度	(6)	(7)	(4)	(11)	(5)	(5)	(6)	(5)	(4)	(8)	(4)	(6)	(71)	(5.9)
2014年度	7	10	3	6	5	9	10	4	5	9	5	8	81	6.8
H26年度	(9)	(7)	(7)	(4)	(7)	(3)	(10)	(8)	(6)	(7)	(7)	(5)	(80)	(6.7)
2015年度	9	5	10	9	6	9	7	8	12	11	7	8	101	8.4
H27年度	(7)	(12)	(4)	(5)	(14)	(9)	(9)	(6)	(10)	(7)	(9)	(8)	(100)	(8.3)
2016年度	7	8	8	11	6	3	6	8	11	8	16	6	98	8.2
H28年度	(11)	(12)	(3)	(6)	(7)	(6)	(9)	(6)	(5)	(14)	(6)	(5)	(90)	(7.5)
2017年度	7	7	11	8	8	2	8	7	7	7	6	8	86	7.2
H29年度	(9)	(13)	(5)	(9)	(5)	(7)	(9)	(7)	(4)	(5)	(7)	(11)	(91)	(7.6)
2018年度	9	10	14	11	9	7	12	5	9	8	11	7	112	9.3
H30年度	(8)	(12)	(14)	(7)	(13)	(11)	(4)	(5)	(9)	(7)	(10)	(8)	(108)	(9.0)
2019年度	8	5	11	9	5	11	11	6	7	7	6	9	95	7.9
R1年度	(2)	(8)	(5)	(9)	(9)	(9)	(10)	(9)	(11)	(5)	(7)	(7)	(91)	(7.6)
2020年度	10	10	14	14	11	9	15	11	10	12	8	13	137	11.4
R2年度	(8)	(8)	(15)	(10)	(11)	(10)	(15)	(11)	(9)	(9)	(12)	(9)	(127)	(10.6)

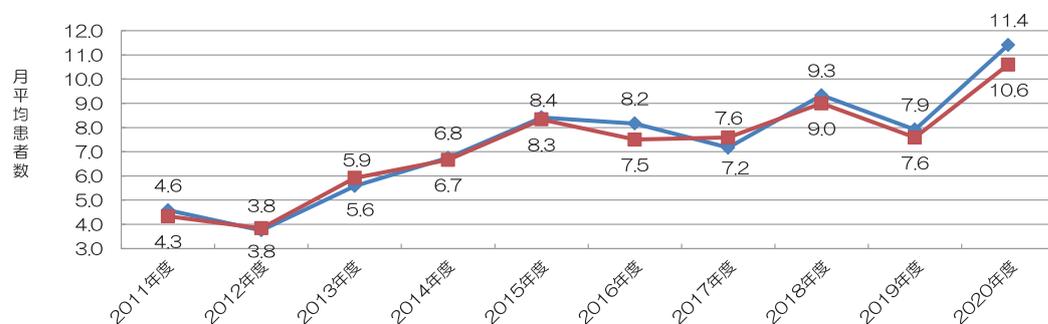
() 内は、退院患者数

年度別

入退院患者総数



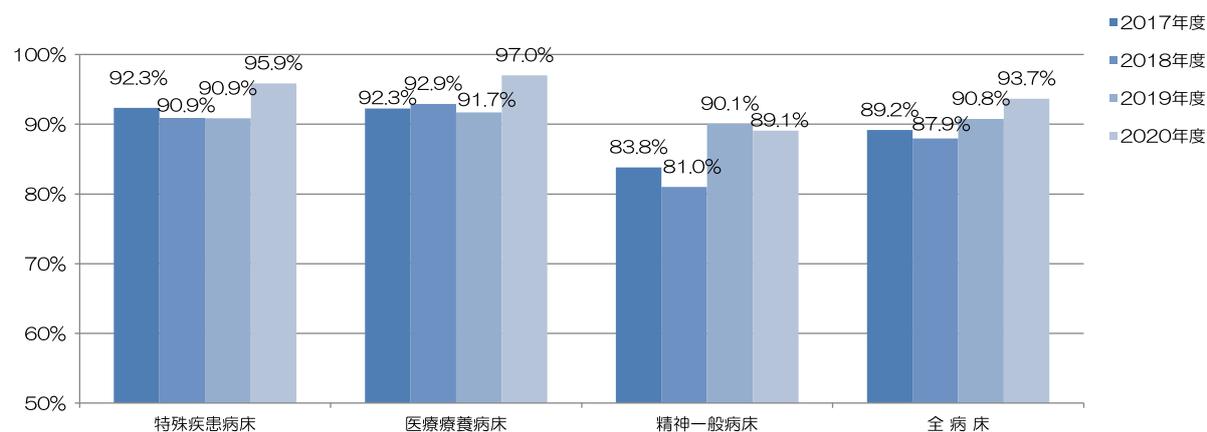
入退院患者月平均数



病床稼働率・平均在院日数

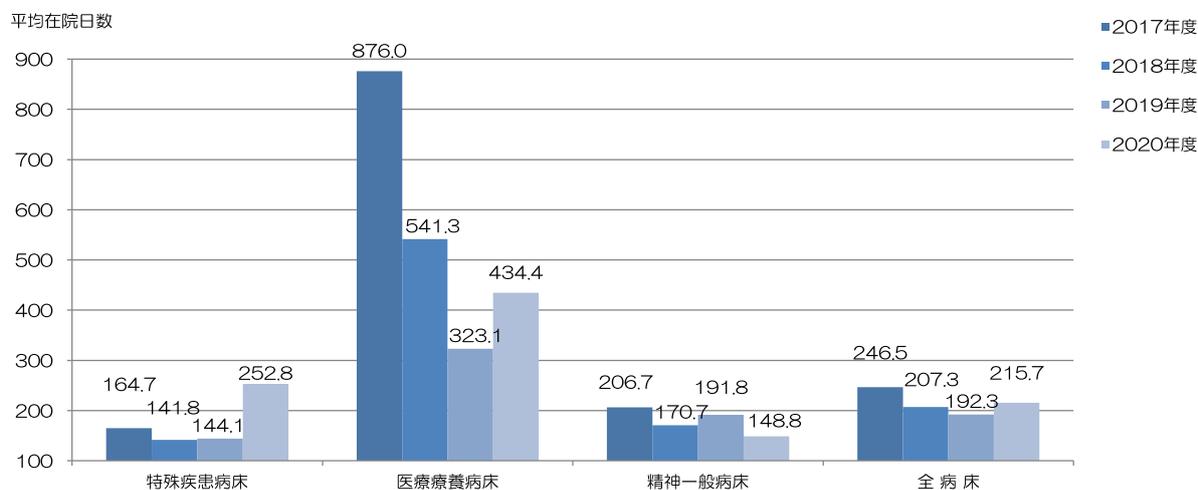
病床稼働率

病床	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
特殊疾患病床	92.3%	90.9%	90.9%	95.9%
医療療養病床	92.3%	92.9%	91.7%	97.0%
精神一般病床	83.8%	81.0%	90.1%	89.1%
全病床	89.2%	87.9%	90.8%	93.7%



平均在院日数

病床	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度
特殊疾患病床	164.7	141.8	144.1	252.8
医療療養病床	876.0	541.3	323.1	434.4
精神一般病床	206.7	170.7	191.8	148.8
全病床	246.5	207.3	192.3	215.7



精神科作業療法室

精神科作業療法室では、統合失調症の他、うつ病や双極性感情障害などの気分障害、認知症の方などを対象に様々な活動を通して心と身体のリハビリテーションを実施しています。

入院患者さんの「生活行為」「休息」「仕事」の自立を中心に考え、入院当初より積極的に患者さんと関わりを持ち、患者さんの思いを聞き、それを他職種間で共有することで入院から退院、そして地域の中で患者さんがより良く過ごせるように日々関わっています。

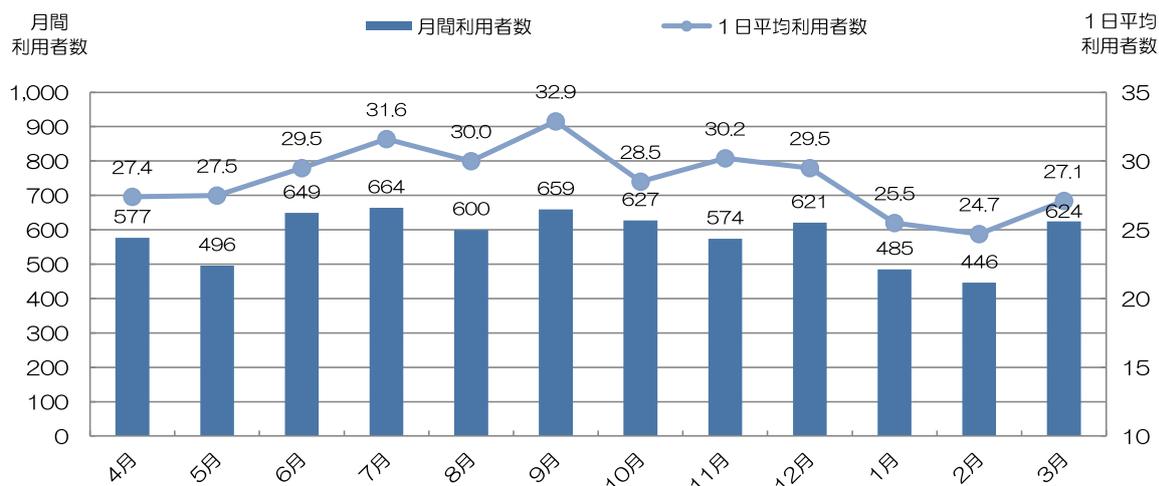
しかし、今年度はコロナ禍という状況もあり、いつも行っていた活動が実施できず、全て院内で行える活動のみの実施となりました。そのため、毎年行っていた院外でのレクリエーションや散歩農作業なども実施できない状況でした。

このコロナ禍がいつまで続くのかは分かりませんが、今後も「生活行為」「休息」「仕事」の自立を中心に考えた支援は継続できるよう、他職種とも協力しながら行っていけたらと思います。

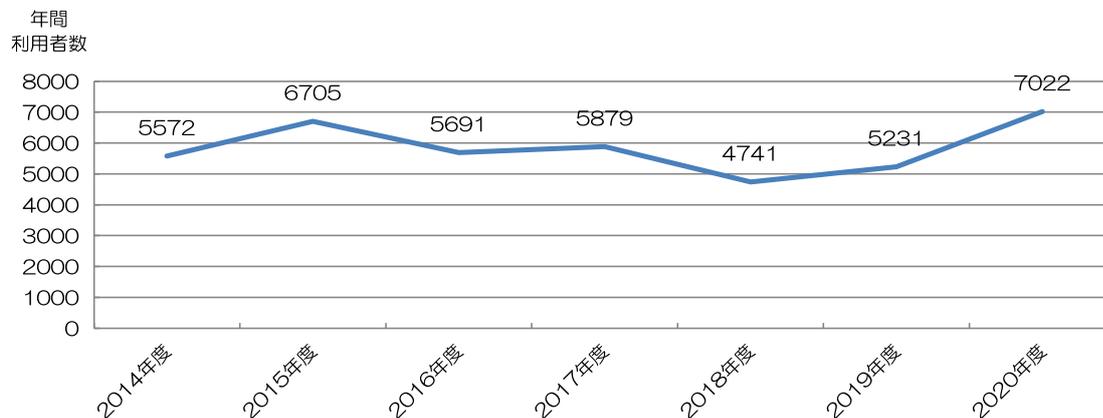
作業療法士 今城 恵理

2020年度月間利用者数・1日平均利用者数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月間利用者数	577	496	649	664	600	659	627	574	621	485	446	624	7022
1日平均利用者数	27.4	27.5	29.5	31.6	30.0	32.9	28.5	30.2	29.5	25.5	24.7	27.1	



年間利用者数の推移



薬剤課

1 2020年度処方枚数

単位：枚数

2020年度	内服・外用							注射	
	外来 院内処方	昨対	院外処方	昨対	入院	昨対	合計	入院	昨対
2020年 4月	77	98.7%	1,540	100.3%	787	112.6%	2,404	365	51.5%
5月	82	85.4%	1,417	90.7%	658	96.6%	2,157	409	48.5%
6月	55	75.3%	1,520	104.5%	896	140.9%	2,471	465	62.3%
7月	80	103.9%	1,644	97.4%	945	113.0%	2,669	850	90.8%
8月	60	92.3%	1,557	101.6%	832	123.4%	2,449	748	99.3%
9月	82	120.6%	1,530	104.4%	787	113.9%	2,399	807	90.5%
10月	80	109.6%	1,640	101.0%	799	111.4%	2,519	493	60.3%
11月	73	104.3%	1,477	96.8%	824	112.6%	2,374	573	53.8%
12月	106	95.5%	1,597	103.4%	811	100.2%	2,514	791	69.6%
2021年 1月	68	75.6%	1,484	93.3%	701	93.8%	2,253	654	61.4%
2月	105	140.0%	1,371	93.2%	628	90.1%	2,104	656	104.0%
3月	93	93.9%	1,700	104.4%	781	98.4%	2,574	883	142.2%
合計	961	98.6%	18,477	99.2%	9,449	108.4%	28,887	7,694	75.3%

院外処方せん発行率 95.1%

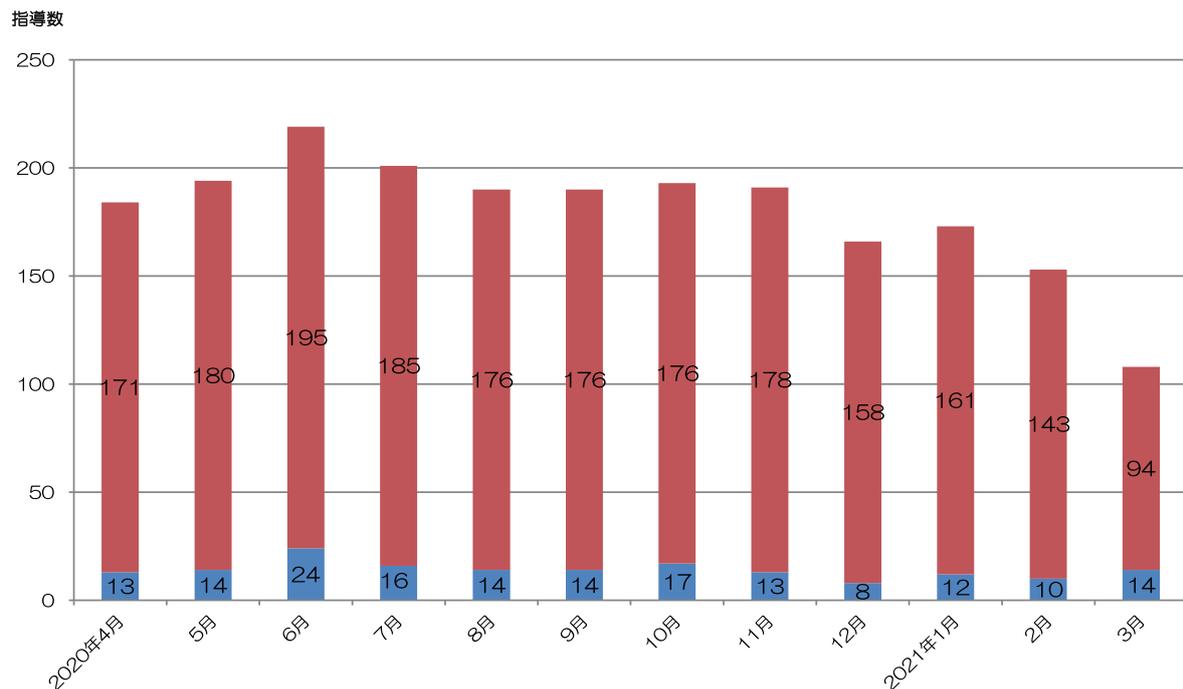


2 薬剤課の取り組み

1) 服薬指導の実施：病棟服薬指導（月間）

赤：入院患者服薬指導数(退院時除く) 1993件(前年度 1954件)

青：退院時服薬指導数 169件(前年度 136件)



2) その他年間実績

- ① 疑義照会 6件（院外薬局薬剤師からの照会は含んでいない）
- ② 処方提案 18件（薬剤師と医師との連携）
- ③ 副作用情報収集 15件（病棟2、薬剤課12、外来1）

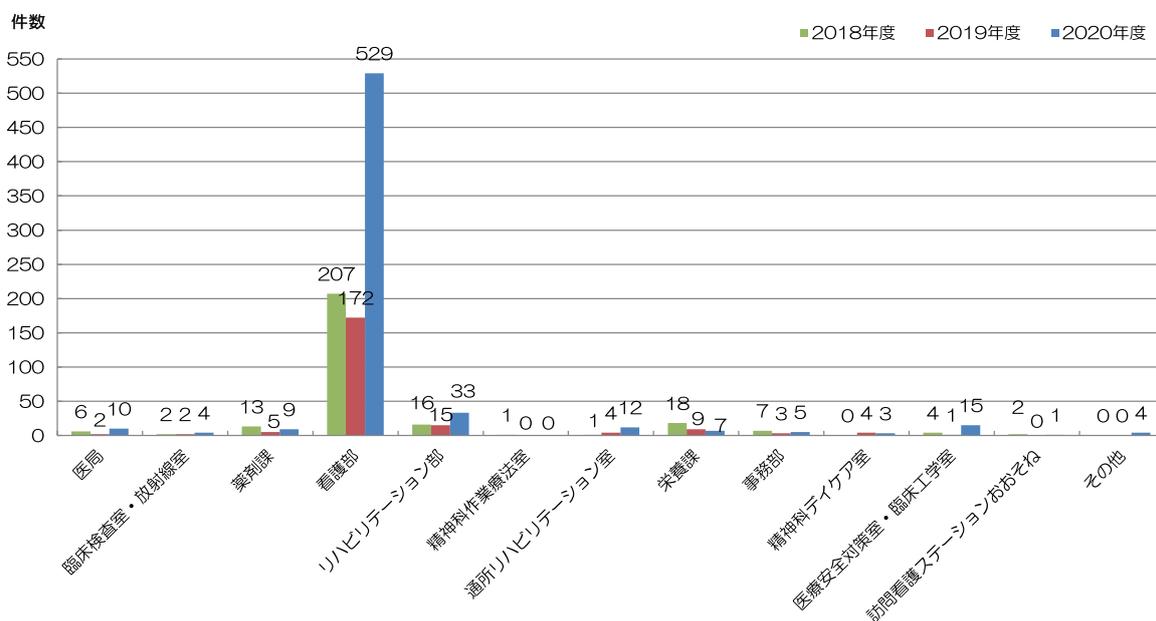
医療安全対策室

1) 2020年度インシデント報告件数

部署	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医局	1	0	1	1	2	1	1	0	1	2	0	0	10
臨床検査室・放射線室	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	4
薬剤課	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	4	9
看護部	19	25	50	60	50	47	43	49	52	46	39	49	529
リハビリテーション部	0	1	0	9	3	2	3	0	8	0	4	3	33
精神科作業療法室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所リハビリテーション室	0	0	0	5	1	0	2	1	0	0	2	1	12
栄養課	1	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	7
事務部	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5
精神科デイケア室	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
医療安全対策室・臨床工学室	0	0	2	3	0	0	1	1	1	0	6	1	15
訪問看護ステーションおおそね	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	4
合計	23	27	55	79	63	54	50	51	67	53	52	58	632

疑義照会	1	3	2	0	0	3	1	2	3	0	0	0	15
疑義照会含む合計	24	30	57	79	63	57	51	53	70	53	52	58	647

2) インシデント部署別報告件数の推移



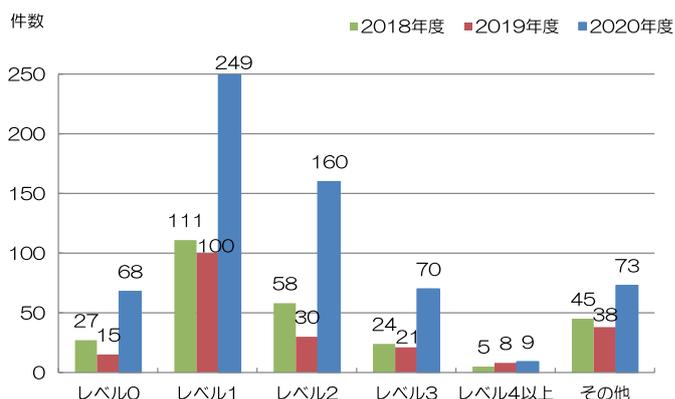
3) 2020年度インシデントレベル別報告件数

レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レベル0	5	1	5	6	8	6	4	8	10	7	6	2	68
レベル1	7	13	20	34	29	21	15	21	27	18	26	18	249
レベル2	3	9	7	13	13	16	13	16	21	18	10	21	160
レベル3	3	1	9	14	5	2	8	3	4	5	8	8	70
レベル4	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	1	0	8
レベル5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レベル6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レベル7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	5	3	14	11	8	8	9	0	3	2	1	9	73
合計	23	27	55	78	63	54	50	51	67	51	52	58	629

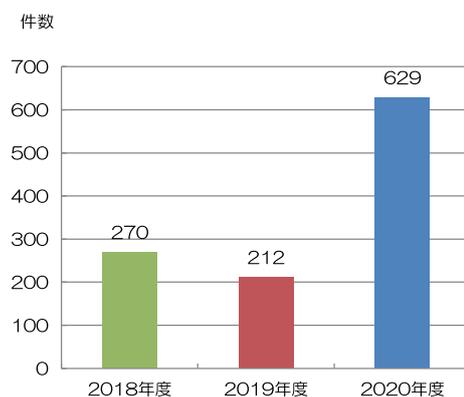
(同一事例1)

(同一事例2)

4) インシデントレベル別報告件数の推移



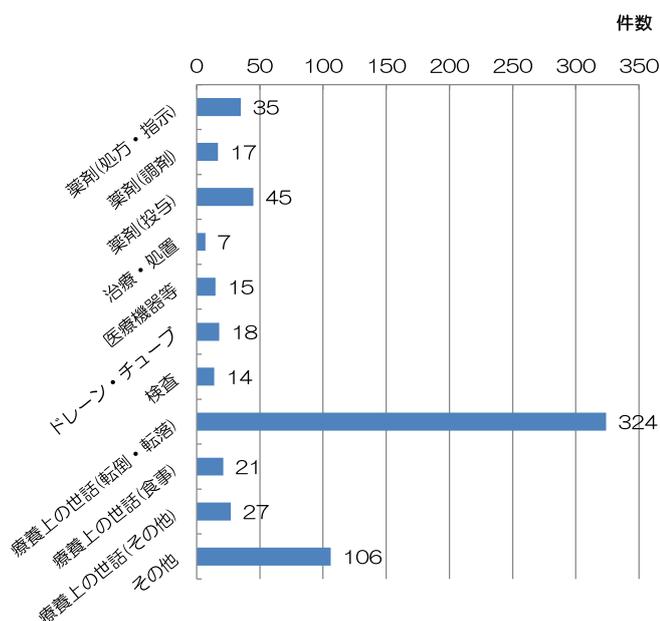
5) インシデント報告件数の推移



6) 2020年度ヒヤリハット内容

内容		2020年度
① 薬剤	処方・指示	35
	調剤	17
	投与	45
② 治療・処置		7
③ 医療機器等		15
④ ドレーン・チューブ		18
⑤ 検査		14
⑥ 療養上の世話	転倒・転落	324
	食事	21
	その他	27
⑦ その他		106
合計		629

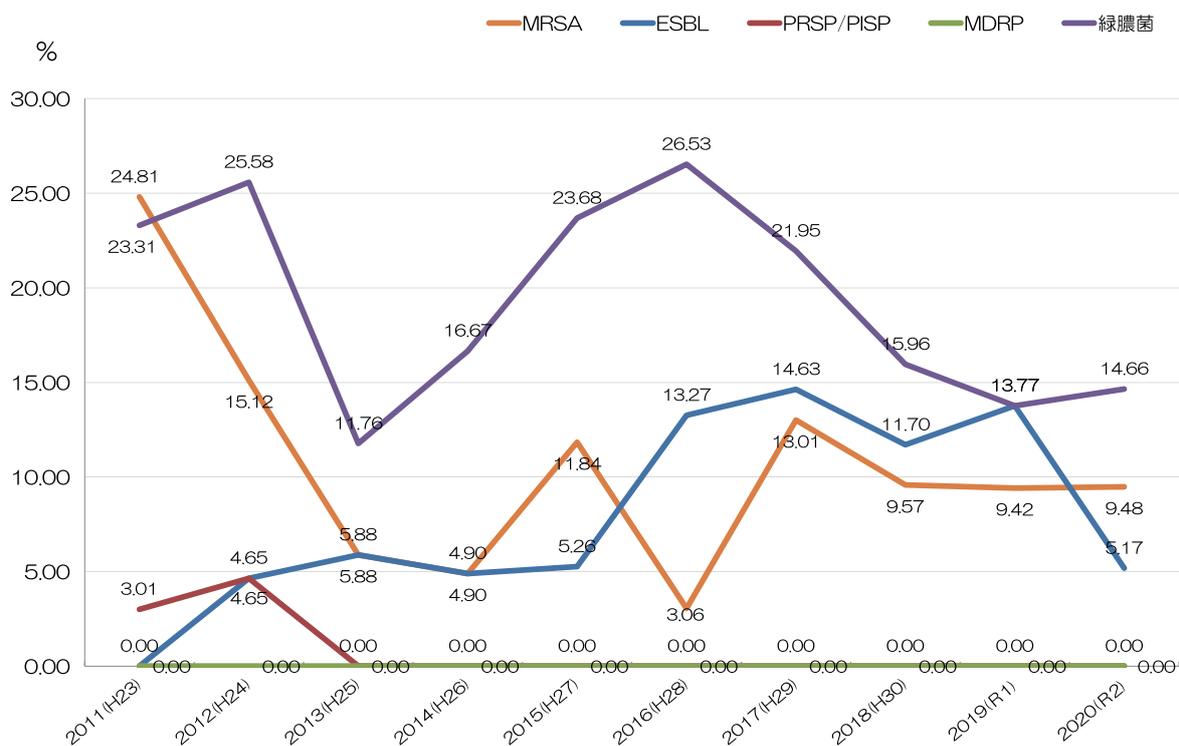
(同一事例3)



薬剤耐性菌検出率の推移

薬剤耐性菌検出率 % (全材料：全検出菌株数に占める薬剤耐性菌株数と緑膿菌株数)

年度	MRSA	ESBL	PRSP/PISP	MDRP	緑膿菌
2011(H23)	24.81	0.00	3.01	0.00	23.31
2012(H24)	15.12	4.65	4.65	0.00	25.58
2013(H25)	5.88	5.88	0.00	0.00	11.76
2014(H26)	4.90	4.90	0.00	0.00	16.67
2015(H27)	11.84	5.26	0.00	0.00	23.68
2016(H28)	3.06	13.27	0.00	0.00	26.53
2017(H29)	13.01	14.63	0.00	0.00	21.95
2018(H30)	9.57	11.70	0.00	0.00	15.96
2019(R1)	9.42	13.77	0.00	0.00	13.77
2020(R2)	9.48	5.17	0.00	0.00	14.66

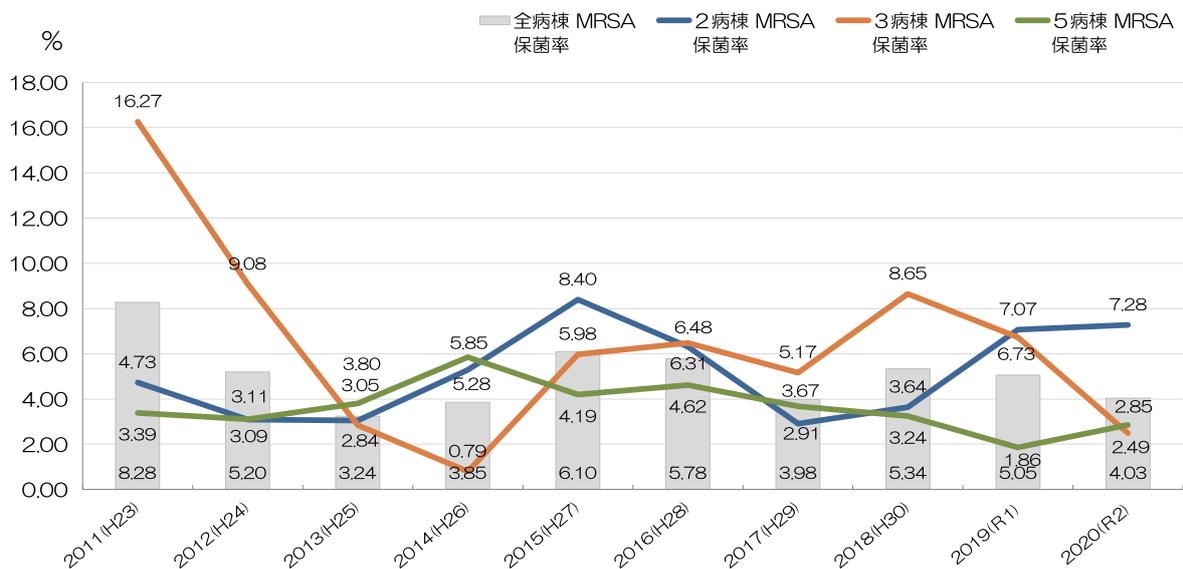


薬剤耐性菌検出率 % (全材料：全検出菌株数に占める薬剤耐性菌と緑膿菌株数)

MRSA保菌率の推移

(委員会開催日当日保菌率：年平均)

年度	2病棟			3病棟			5病棟			全病棟		
	MRSA 検出患者 数	入院患者 数	MRSA 保菌率	MRSA 検出患者 数	入院患者 数	MRSA 保菌率	MRSA 検出患者 数	入院患者 数	MRSA 保菌率	MRSA 検出患者 数	総入院 患者数	MRSA 保菌率
2011(H23)	2.08	44.08	4.73	8.58	52.75	16.27	1.83	54.08	3.39	12.50	150.92	8.28
2012(H24)	1.33	43.08	3.09	4.75	52.33	9.08	1.67	53.58	3.11	7.75	149.00	5.20
2013(H25)	1.33	43.75	3.05	1.50	52.83	2.84	2.00	52.58	3.80	4.83	149.17	3.24
2014(H26)	2.33	44.17	5.28	0.42	52.50	0.79	2.83	48.42	5.85	5.58	145.08	3.85
2015(H27)	3.67	43.67	8.40	3.08	51.58	5.98	2.08	49.67	4.19	8.83	144.92	6.10
2016(H28)	2.58	40.92	6.31	3.25	50.17	6.48	2.25	48.67	4.62	8.08	139.75	5.78
2017(H29)	1.25	43.00	2.91	2.67	51.58	5.17	1.83	49.92	3.67	5.75	144.50	3.98
2018(H30)	1.50	41.17	3.64	4.50	52.00	8.65	1.58	48.83	3.24	7.58	142.00	5.34
2019(R1)	3.00	42.42	7.07	3.42	50.75	6.73	1.00	53.67	1.86	7.42	146.83	5.05
2020(R2)	3.25	44.67	7.28	1.33	53.58	2.49	1.50	52.58	2.85	6.08	150.83	4.03



MRSA保菌率 % = (MRSA検出患者数/入院患者数) × 100

検体別検出細菌数

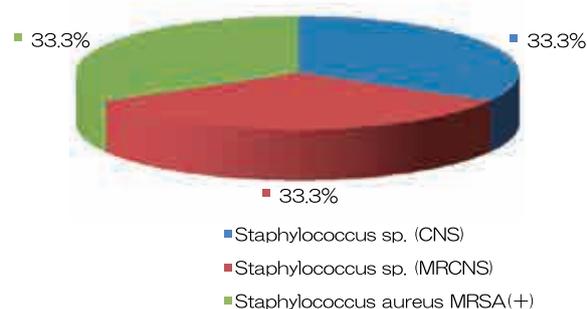
呼吸器

2020 呼吸器	%
1 Pseudomonas aeruginosa	17.4
2 Staphylococcus aureus MRSA(+)	8.7
3 Streptococcus agalactiae B群	7.6
4 Candida sp.	7.6
5 Staphylococcus aureus MRSA(-)	6.5
6 Haemophilus influenzae	6.5
7 α-Streptococcus	4.3
8 C群 Streptococcus	4.3
9 Klebsiella pneumoniae	4.3
10 Corynebacterium sp	3.3
11 Proteus mirabilis(ESBL)	2.2
12 Proteus mirabilis	2.2
13 Klebsiella oxytoca	2.2
14 Escherichia coli(ESBL)	2.2
15 Enterobacter aerogenes	2.2
16 Enterobacter sp.	2.2
17 Stenotrophomonas maltophilia	2.2
18 Moraxella catarrhalis	2.2
19 G群 Streptococcus	2.2
20 Serratia marcescens	2.2
21 Streptococcus milleri Group	1.1
22 Streptococcus dysgalactiae	1.1
23 klebsiella sp.	1.1
24 Enterobacter agglomerans	1.1
25 Citrobacter koseri	1.1
26 Acinetobacter baumannii	1.1
27 Acinetobacter sp.	1.1
合計	100.0



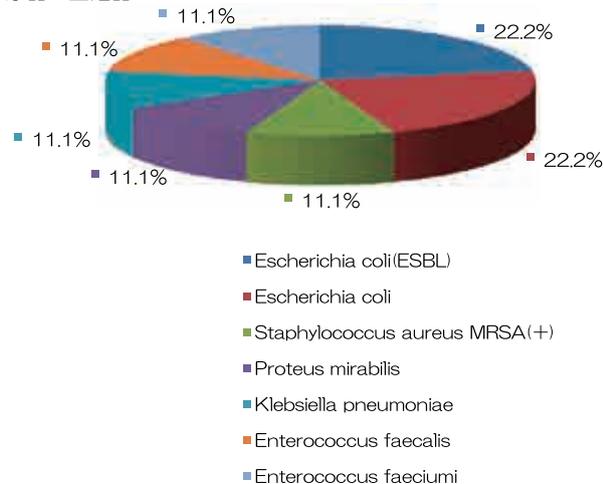
2020 血液・穿刺液	%
1 Staphylococcus sp. (CNS)	33.3
2 Staphylococcus sp. (MRCNS)	33.3
3 Staphylococcus aureus MRSA(+)	33.3
合計	100.0

血液・穿刺液



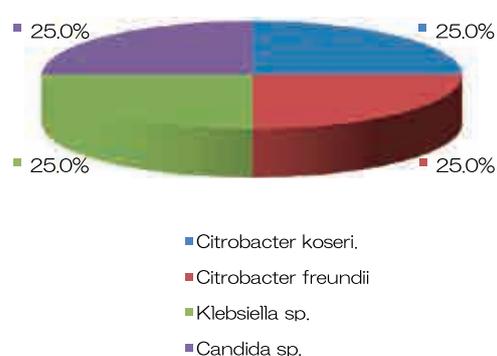
2020 泌尿器・生殖器	%
1 Escherichia coli(ESBL)	22.2
2 Escherichia coli	22.2
3 Staphylococcus aureus MRSA(+)	11.1
4 Proteus mirabilis	11.1
5 Klebsiella pneumoniae	11.1
6 Enterococcus faecalis	11.1
7 Enterococcus faeciumi	11.1
合計	100.0

泌尿器・生殖器



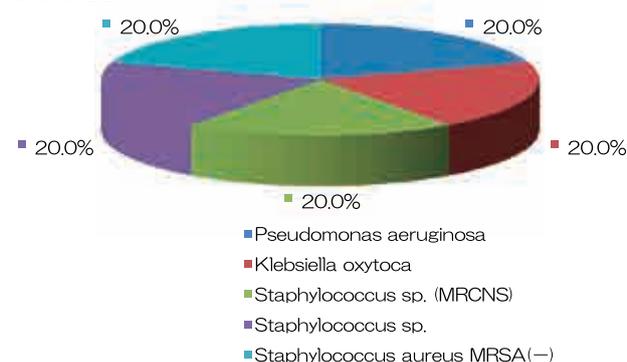
2020 消化器	%
1 Citrobacter koseri.	25.0
2 Citrobacter freundii	25.0
3 Klebsiella sp.	25.0
4 Candida sp.	25.0
合計	100.0

消化器



2020 その他(褥瘡等)	%
1 Pseudomonas aeruginosa	20.0
2 Klebsiella oxytoca	20.0
3 Staphylococcus sp. (MRCNS)	20.0
4 Staphylococcus sp.	20.0
5 Staphylococcus aureus MRSA(-)	20.0
合計	100.0

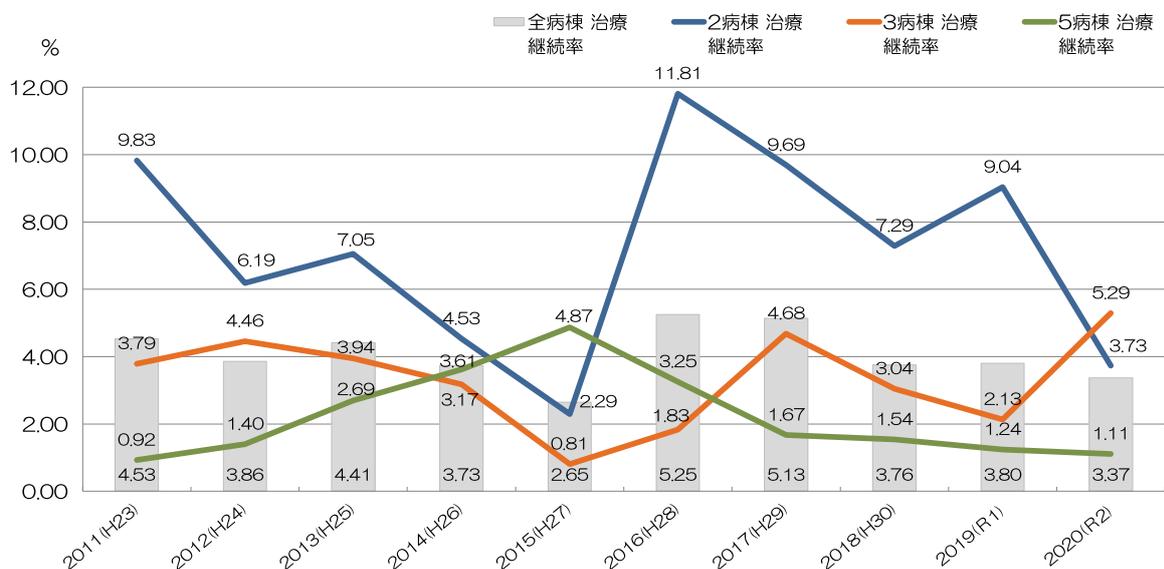
その他(褥瘡等)



褥瘡患者数の推移 褥瘡治療継続率

(委員会開催日当日褥瘡治療継続率：年平均)

年度	2病棟			3病棟			5病棟			全病棟		
	褥瘡治療継続者数	入院患者数	治療継続率	褥瘡治療継続者数	入院患者数	治療継続率	褥瘡治療継続者数	入院患者数	治療継続率	褥瘡治療継続者数	総入院患者数	治療継続率
2011(H23)	4.33	44.08	9.83	2.00	52.75	3.79	0.50	54.08	0.92	6.83	150.92	4.53
2012(H24)	2.67	43.08	6.19	2.33	52.33	4.46	0.75	53.58	1.40	5.75	149.00	3.86
2013(H25)	3.08	43.75	7.05	2.08	52.83	3.94	1.42	52.58	2.69	6.58	149.17	4.41
2014(H26)	2.00	44.17	4.53	1.67	52.50	3.17	1.75	48.42	3.61	5.42	145.08	3.73
2015(H27)	1.00	43.67	2.29	0.42	51.58	0.81	2.42	49.67	4.87	3.83	144.92	2.65
2016(H28)	4.83	40.92	11.81	0.92	50.17	1.83	1.58	48.67	3.25	7.33	139.75	5.25
2017(H29)	4.17	43.00	9.69	2.42	51.58	4.68	0.83	49.92	1.67	7.42	144.50	5.13
2018(H30)	3.00	41.17	7.29	1.58	52.00	3.04	0.75	48.83	1.54	5.33	142.00	3.76
2019(R1)	3.83	42.42	9.04	1.08	50.75	2.13	0.67	53.67	1.24	5.58	146.83	3.80
2020(R2)	1.67	44.67	3.73	2.83	53.58	5.29	0.58	52.58	1.11	5.08	150.83	3.37

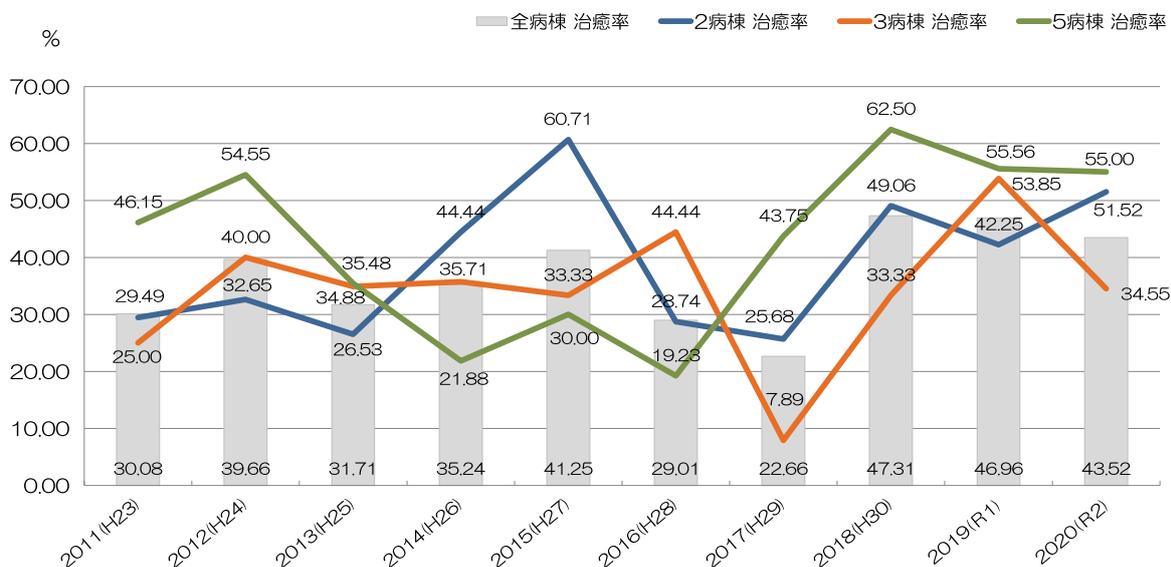


褥瘡治療継続率 % = (褥瘡治療継続者数/入院患者数) × 100

褥瘡治癒率

(委員会開催日当日褥瘡治癒率：年平均)

年度	2病棟			3病棟			5病棟			全病棟		
	褥瘡治癒者数	褥瘡治療継続者数+新規発生者数	治癒率									
2011(H23)	1.92	6.50	29.49	0.67	2.67	25.00	0.50	1.08	46.15	3.08	10.25	30.08
2012(H24)	1.33	4.08	32.65	1.50	3.75	40.00	1.00	1.83	54.55	3.83	9.67	39.66
2013(H25)	1.08	4.08	26.53	1.25	3.58	34.88	0.92	2.58	35.48	3.25	10.25	31.71
2014(H26)	1.67	3.75	44.44	0.83	2.33	35.71	0.58	2.67	21.88	3.08	8.75	35.24
2015(H27)	1.42	2.33	60.71	0.33	1.00	33.33	1.00	3.33	30.00	2.75	6.67	41.25
2016(H28)	2.08	7.25	28.74	0.67	1.50	44.44	0.42	2.17	19.23	3.17	10.92	29.01
2017(H29)	1.58	6.17	25.68	0.25	3.17	7.89	0.58	1.33	43.75	2.42	10.67	22.66
2018(H30)	2.17	4.42	49.06	0.67	2.00	33.33	0.83	1.33	62.50	3.67	7.75	47.31
2019(R1)	2.50	5.92	42.25	1.17	2.17	53.85	0.83	1.50	55.56	4.50	9.58	46.96
2020(R2)	1.42	2.75	51.52	1.58	4.58	34.55	0.92	1.67	55.00	3.92	9.00	43.52

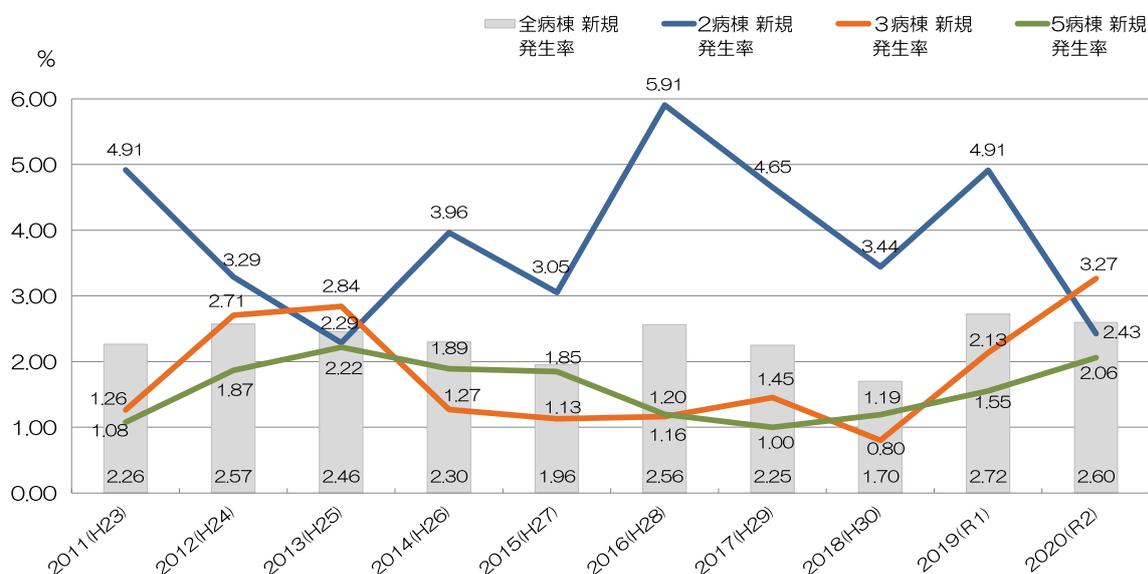


褥瘡治癒率 % = (褥瘡治癒者数 / (褥瘡治療継続者数 + 新規発生者数)) × 100

各病棟入院患者数に対する褥瘡新規発生率

(委員会開催日当日各病棟褥瘡新規発生率：年平均)

年度	2病棟			3病棟			5病棟			全病棟		
	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	総入院患者数	新規発生率
2011(H23)	2.17	44.08	4.91	0.67	52.75	1.26	0.58	54.08	1.08	3.42	150.92	2.26
2012(H24)	1.42	43.08	3.29	1.42	52.33	2.71	1.00	53.58	1.87	3.83	149.00	2.57
2013(H25)	1.00	43.75	2.29	1.50	52.83	2.84	1.17	52.58	2.22	3.67	149.17	2.46
2014(H26)	1.75	44.17	3.96	0.67	52.50	1.27	0.92	48.42	1.89	3.33	145.08	2.30
2015(H27)	1.33	43.67	3.05	0.58	51.58	1.13	0.92	49.67	1.85	2.83	144.92	1.96
2016(H28)	2.42	40.92	5.91	0.58	50.17	1.16	0.58	48.67	1.20	3.58	139.75	2.56
2017(H29)	2.00	43.00	4.65	0.75	51.58	1.45	0.50	49.92	1.00	3.25	144.50	2.25
2018(H30)	1.42	41.17	3.44	0.42	52.00	0.80	0.58	48.83	1.19	2.42	142.00	1.70
2019(R1)	2.08	42.42	4.91	1.08	50.75	2.13	0.83	53.67	1.55	4.00	146.83	2.72
2020(R2)	1.08	44.67	2.43	1.75	53.58	3.27	1.08	52.58	2.06	3.92	150.83	2.60

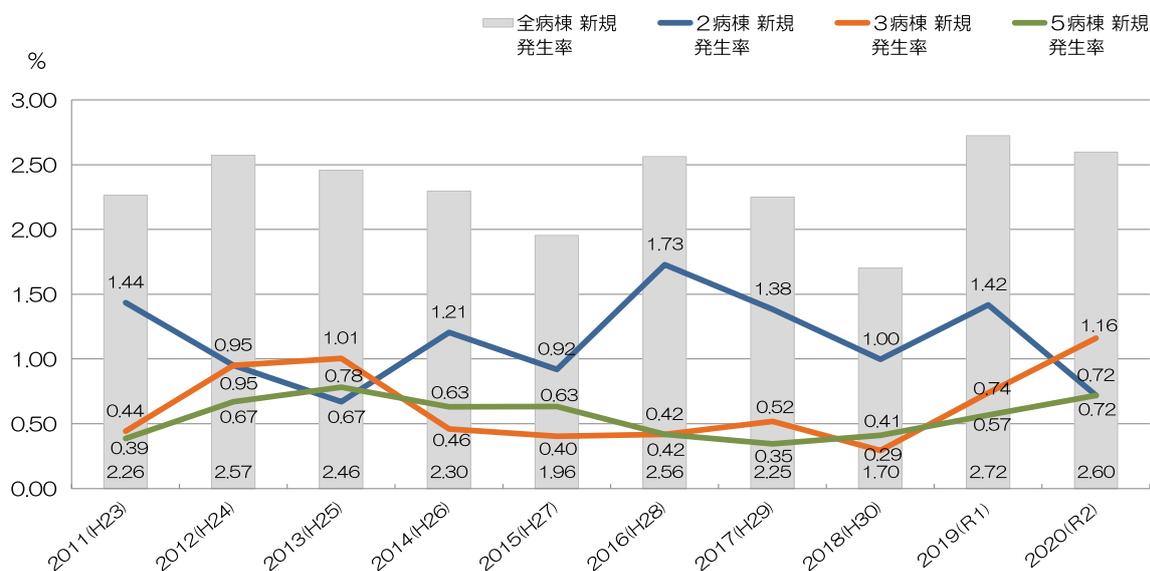


各病棟褥瘡新規発生率% = (各病棟褥瘡新規発生者数/各病棟入院患者数) × 100

総入院患者数に対する褥瘡新規発生率

(委員会開催日当日総入院患者数に対する褥瘡新規発生率：年平均)

年度	2病棟			3病棟			5病棟			全病棟		
	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	入院患者数	新規発生率	褥瘡新規発生者数	総入院患者数	新規発生率
2011(H23)	2.17	44.08	1.44	0.67	52.75	0.44	0.58	54.08	0.39	3.42	150.92	2.26
2012(H24)	1.42	43.08	0.95	1.42	52.33	0.95	1.00	53.58	0.67	3.83	149.00	2.57
2013(H25)	1.00	43.75	0.67	1.50	52.83	1.01	1.17	52.58	0.78	3.67	149.17	2.46
2014(H26)	1.75	44.17	1.21	0.67	52.50	0.46	0.92	48.42	0.63	3.33	145.08	2.30
2015(H27)	1.33	43.67	0.92	0.58	51.58	0.40	0.92	49.67	0.63	2.83	144.92	1.96
2016(H28)	2.42	40.92	1.73	0.58	50.17	0.42	0.58	48.67	0.42	3.58	139.75	2.56
2017(H29)	2.00	43.00	1.38	0.75	51.58	0.52	0.50	49.92	0.35	3.25	144.50	2.25
2018(H30)	1.42	41.17	1.00	0.42	52.00	0.29	0.58	48.83	0.41	2.42	142.00	1.70
2019(R1)	2.08	42.42	1.42	1.08	50.75	0.74	0.83	53.67	0.57	4.00	146.83	2.72
2020(R2)	1.08	44.67	0.72	1.75	53.58	1.16	1.08	52.58	0.72	3.92	150.83	2.60



総入院患者数に対する褥瘡新規発生率% = (褥瘡新規発生者数/総入院患者数) × 100

栄養課

1) NST(栄養サポートチーム)の活動状況

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開催数	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49	
対象者 人数	2病棟	1	3	5	8	7	10	6	2	4	8	5	5	64
	3病棟	13	20	16	9	5	3	5	3	4	2	0	5	85
	5病棟	7	11	7	10	9	17	13	13	10	12	6	8	123
小計	21	34	28	27	21	30	24	18	18	22	11	18	272	
ラウンド数	13	16	18	15	14	18	12	8	9	10	2	8	143	
コンサルテーション	9	8	1	9	12	6	20	10	14	17	12	21	139	
合計	30	42	29	36	33	36	44	28	32	39	23	39	411	

2020年度NST新規対象者依頼内容

2020年度	2病棟	3病棟	5病棟	合計
SGA「B・C」評価	12	17	30	59
主治医からの依頼	2	3	0	5
栄養計画	16	16	17	49
食種の検討	6	6	1	13
摂取量の不足	0	0	2	2
体重管理	1	8	4	13
褥瘡に対し栄養計画の検討	0	0	0	0
定期病状カンファレンス	0	0	0	0
嚥下廻診	2	0	0	2
入院時食事評価書	0	0	0	0
合計	39	50	54	143

2020年度NST勉強会

- 2020/7/31 (金) 経口補水療法について
- 2020/11/13 (金) 消化態栄養による継続的な栄養管理について
- 2021/1/22 (金) トロミ茶自動サーバーについての検討会
- 2021/3/19 (金) 経管栄養森永MAラクフィア1.5について

2) 栄養指導

2020年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加算	入院	1	1	1	1	0	4	0	2	1	2	1	1	15
	外来	2	1	5	6	8	5	5	1	1	0	0	1	35
非加算	入院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科 栄養教室	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	人数	30	35	35	39	45	41	31	30	34	35	27	26	408
精神科 デイケア 栄養教室	回数	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	人数	0	0	0	0	12	28	14	8	23	22	20	18	145
特定保健 指導	動機付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	積極的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回数合計		4	4	7	8	10	11	7	5	4	4	3	4	71
対象者人数合計		33	38	41	46	65	78	50	41	59	59	48	46	604

3) 栄養管理計画書作成件数

2020年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2病棟	入院	1	2	5	2	2	3	5	5	4	2	1	2	34
	退院	1	1	3	3	4	3	5	5	4	4	0	3	36
	継続	9	10	17	12	10	13	15	8	15	13	14	13	149
小計		11	13	25	17	16	19	25	18	23	19	15	18	219
3病棟	入院	9	8	10	8	5	3	6	5	2	4	4	4	68
	退院	6	8	10	6	5	6	5	4	4	5	2	9	70
	継続	16	20	20	13	20	15	18	14	19	12	12	12	191
小計		31	36	40	27	30	24	29	23	25	21	18	25	329
5病棟	入院	10	10	14	14	11	9	15	11	10	12	8	13	137
	退院	8	8	15	10	11	10	15	11	9	9	12	9	127
	継続	17	15	12	10	22	22	19	14	23	21	22	27	224
小計		35	33	41	34	44	41	49	36	42	42	42	49	488
合計		77	82	106	78	90	84	103	77	90	82	75	92	1,036

4) 食数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者	12,762	13,520	13,343	13,818	14,008	13,676	13,362	13,227	13,741	13,589	12,079	13,636	160,761
職員	1,018	963	1,076	1,105	1,044	1,051	1,181	1,102	1,095	1,045	953	1,086	12,719
精神科デイケア室	439	450	527	479	395	327	408	348	376	337	312	395	4,793
通所リハビリテーション室	302	257	344	372	335	296	395	356	404	343	350	404	4,158
合計	14,521	15,190	15,290	15,774	15,782	15,350	15,346	15,033	15,616	15,314	13,694	15,521	182,431

5) 選択食実施回数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
選択食実施	14	13	12	15	12	13	14	12	12	12	12	13	154

6) 個別対応食

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別対応食	104	104	109	118	108	114	104	99	105	122	101	112	1,300

7) 栄養情報提供書作成件数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栄養情報提供書	9	6	15	10	9	5	11	9	6	6	10	9	105

8) 行事食

- 2020/4/2 (木) 花見弁当
- 2020/4/15 (水) 病院開院記念献立
- 2020/5/5 (火) 子供の日
- 2020/6/4 (木) あじさい弁当
- 2020/7/7 (火) 七夕カレー
- 2020/7/21 (火) 土用の丑の日
- 2020/9/21 (月) 敬老の日
- 2020/10/1 (木) お月見献立
- 2020/12/24 (木) クリスマス献立
- 2021/1/1 (金) 正月祝い折り
- 2021/2/2 (火) 節分
- 2021/2/14 (日) バレンタイン献立
- 2021/3/3 (水) 桃の節句

9) 調査

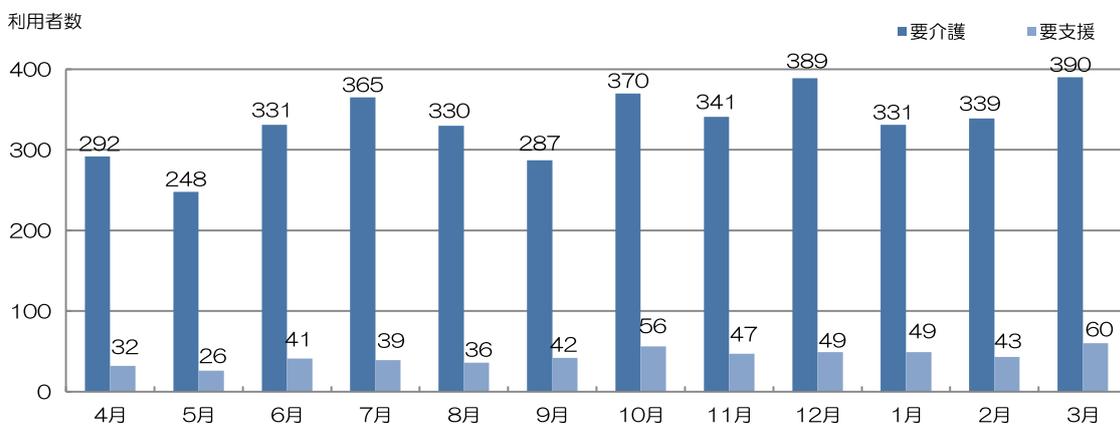
- 2020.6月 令和1年度新規褥瘡発生時の栄養状態調査
- 2020.11月 選択食についてのアンケート
- 2020.11月 嗜好調査

在宅医療支援センター

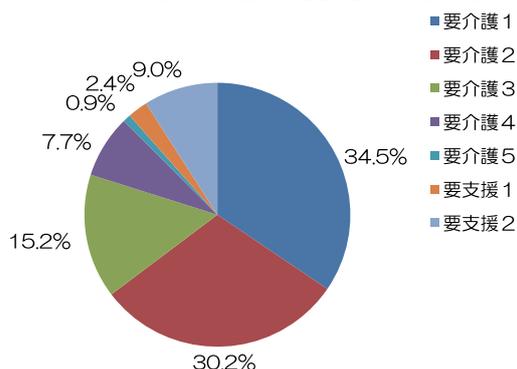
通所リハビリテーション室利用者数

1) 2020年度月別利用者数

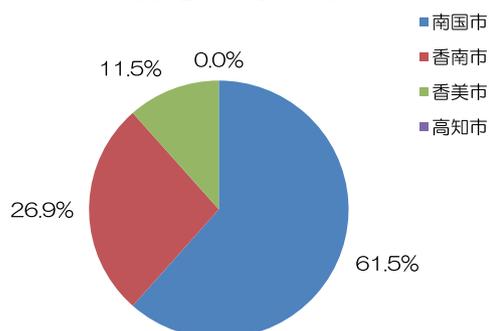
2020年度	要介護	要支援	合計
2020年 4月	292	32	324
5月	248	26	274
6月	331	41	372
7月	365	39	404
8月	330	36	366
9月	287	42	329
10月	370	56	426
11月	341	47	388
12月	389	49	438
2021年 1月	331	49	380
2月	339	43	382
3月	390	60	450
合計	4,013	520	4,533
月平均	334.4	43.3	377.8



2) 2020年度介護度別延利用者数

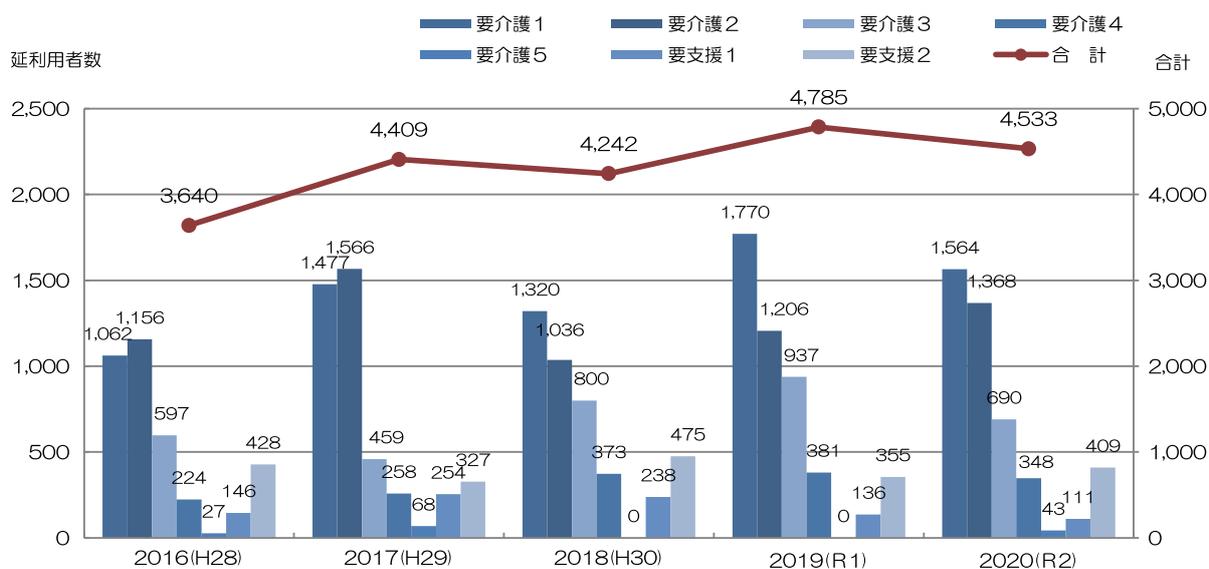


3) 2020年度地域別利用者数



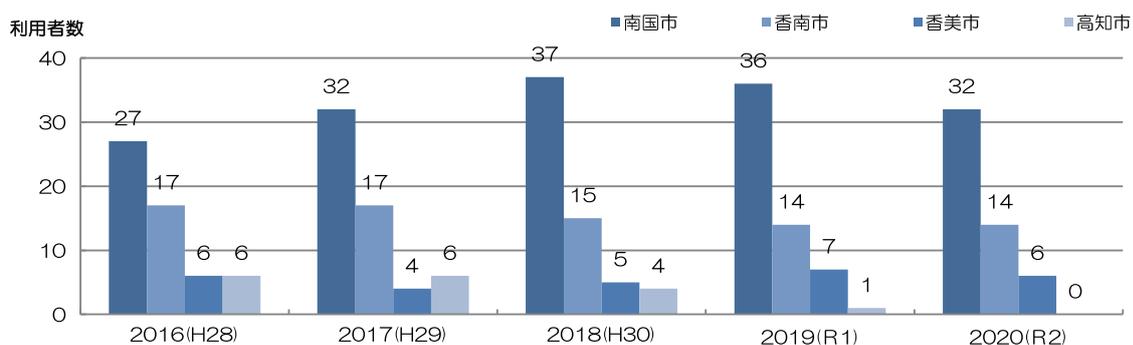
4) 介護度別延利用者数の推移

年 度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2	合 計
2016(H28)	1,062	1,156	597	224	27	146	428	3,640
2017(H29)	1,477	1,566	459	258	68	254	327	4,409
2018(H30)	1,320	1,036	800	373	0	238	475	4,242
2019(R1)	1,770	1,206	937	381	0	136	355	4,785
2020(R2)	1,564	1,368	690	348	43	111	409	4,533



5) 地域別利用者数の推移

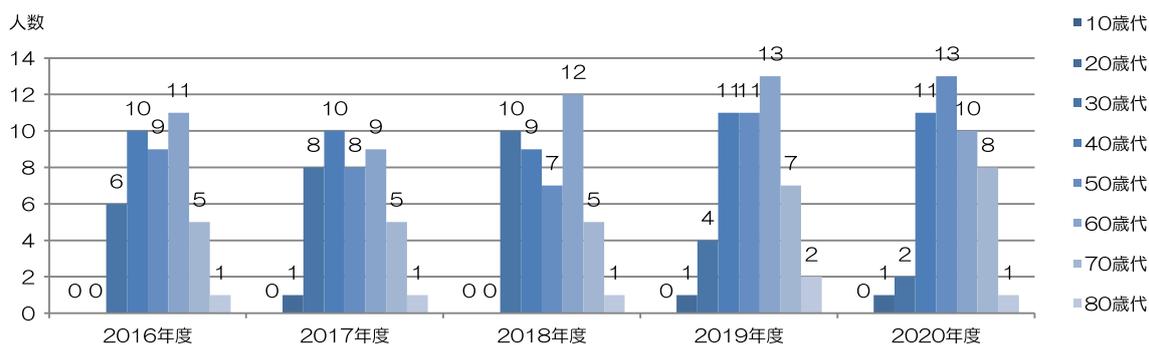
年 度	南国市	香南市	香美市	高知市	合 計
2016(H28)	27	17	6	6	56
2017(H29)	32	17	4	6	59
2018(H30)	37	15	5	4	61
2019(R1)	36	14	7	1	58
2020(R2)	32	14	6	0	52



精神科デイケア室利用者数

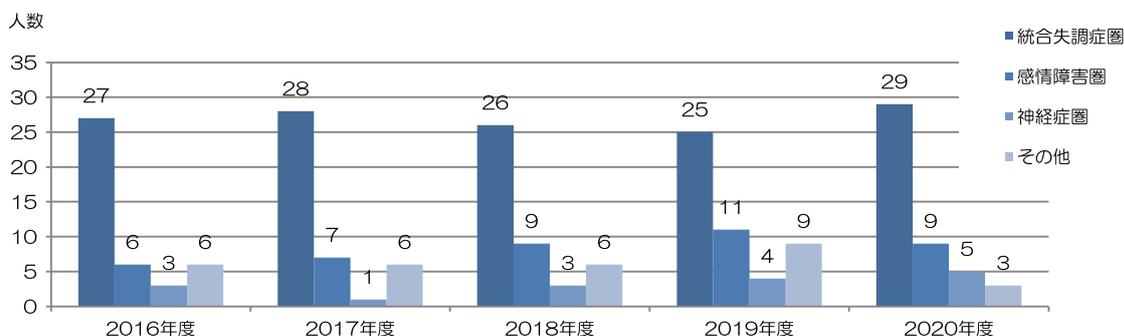
1) 年齢階層別登録人数

年齢	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
10歳代	0	0	0	0	0
20歳代	0	1	0	1	1
30歳代	6	8	10	4	2
40歳代	10	10	9	11	11
50歳代	9	8	7	11	13
60歳代	11	9	12	13	10
70歳代	5	5	5	7	8
80歳代	1	1	1	2	1
登録人数(計)	42	42	44	49	46



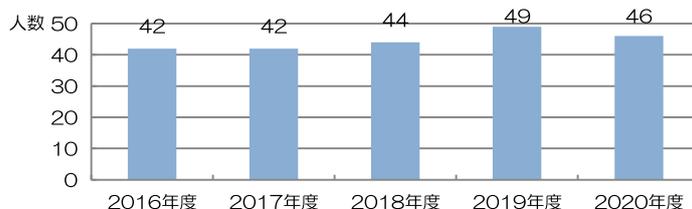
2) 疾患群別登録人数

疾患群	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
統合失調症圏	27	28	26	25	29
感情障害圏	6	7	9	11	9
神経症圏	3	1	3	4	5
その他	6	6	6	9	3
登録人数(計)	42	42	44	49	46



3) 毎年度4月1日現在数

年度	登録人数
2016年度	42
2017年度	42
2018年度	44
2019年度	49
2020年度	46



4) 毎年度4月平均参加人数

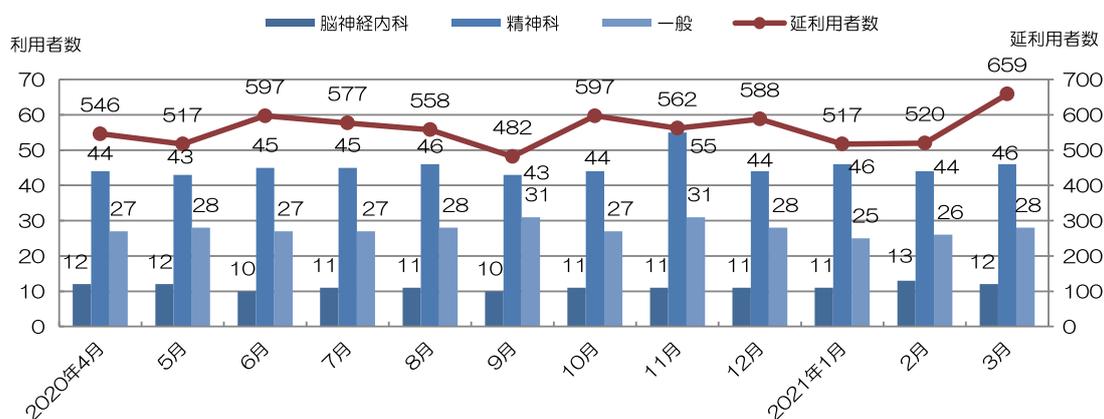
年度	平均人数
2016年度	20.1
2017年度	21.0
2018年度	22.1
2019年度	24.7
2020年度	21.4



訪問看護ステーションおおそね利用者数

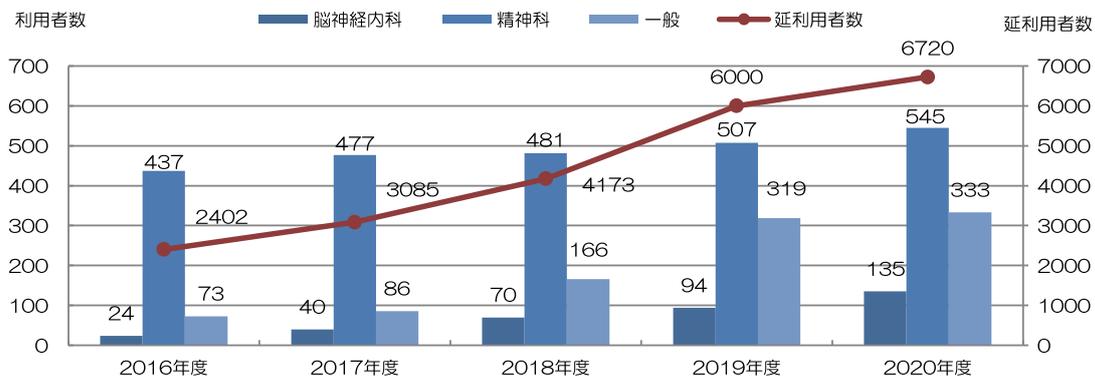
1) 2020年度月別利用者数

2020年度	脳神経内科	精神科	一般	合計	延利用者数
2020年4月	12	44	27	83	546
5月	12	43	28	83	517
6月	10	45	27	82	597
7月	11	45	27	83	577
8月	11	46	28	85	558
9月	10	43	31	84	482
10月	11	44	27	82	597
11月	11	55	31	97	562
12月	11	44	28	83	588
2021年1月	11	46	25	82	517
2月	13	44	26	83	520
3月	12	46	28	86	659
合計	135	545	333	1,013	6,720
月平均	11.25	45.42	27.75	84.42	560.00



2) 診療科別利用者数の推移

年度	脳神経内科	精神科	一般	合計	延利用者数
2016年度	24	437	73	534	2402
2017年度	40	477	86	603	3085
2018年度	70	481	166	717	4173
2019年度	94	507	319	920	6000
2020年度	135	545	333	1013	6720



3) 2020年度訪問看護統計（指示書）

医療機関名	所在地	医療保険			介護保険			発行件数
		男性	女性	計	男性	女性	計	
医療法人つくし会 南国病院	高知県南国市	42	51	93	8	15	23	116
高知大学医学部附属病院	〃 〃	5	12	17	3		3	20
高知県厚生農業協同組合連合会 JA高知病院	〃 〃		1	1	3	4	7	8
医療法人清香会 北村病院	〃 〃			0		2	2	2
医療法人藤原会 藤原病院	〃 〃	2		2			0	2
医療法人慈光会 岡豊病院	〃 〃	4		4		2	2	6
医療法人若草会 高田内科	〃 〃			0	3	3	6	6
南国いのうえクリニック	〃 〃			0		4	4	4
医療法人涼風会 川本内科クリニック	〃 〃			0		4	4	4
医療法人清水会 領石蛭が丘クリニック	〃 〃			0		12	12	12
川田内科	〃 〃			0	1		1	1
たかはし内科小児科	〃 〃			0		2	2	2
社会医療法人近森会 近森病院	〃 高知市			0	2		2	2
近森オルソリハビリテーション病院	〃 〃			0	1		1	1
社会医療法人仁生会 細木病院	〃 〃		1	1			0	1
特定医療法人久会 久病院	〃 〃			0		1	1	1
医療法人社団晴緑会 高知総合リハビリテーション病院	〃 〃			0		1	1	1
医療法人尚腎会 高知高須病院	〃 〃			0		4	4	4
医療法人山口会 高知厚生病院	〃 〃		3	3			0	3
医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル	〃 〃		2	2			0	2
医療法人真田会 さなだクリニック	〃 〃			0		1	1	1
医療法人ひまわり ひまわり在宅クリニック	〃 〃			0		1	1	1
医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所高知潮江	〃 〃			0			0	0
医療法人公世会 野市中央病院	〃 香南市			0		4	4	4
医療法人久武会 もえぎクリニック	〃 〃	1		1			0	1
疋田内科	〃 〃		1	1			0	1
さくら香美クリニック	〃 〃			0		7	7	7
村上内科循環器科	〃 〃			0		2	2	2
高知県立あき総合病院	〃 安芸市	3	1	4			0	4
石川記念病院	〃 吾川郡		2	2			0	2
合 計		57	74	131	21	69	90	221

教 育

2020 年度 実習受け入れ状況

◎高知大学医学部医学科地域医療実習について

当院は平成 18 年度より高知大学医学部医学科 5 年生の地域医療実習をお引き受けしています。当院の専門性から脳神経内科実習、精神科実習、内科実習として、令和 2 年度も実習生を受け入れる予定でしたが、県内の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、当年度はやむを得ず受け入れを中止させて頂きました。前年度までは主として外来診療の見学と病棟回診における診察技術の学習の場を提供し、病院リハビリ、通所リハビリ、精神科デイケアの見学・参加、NST や褥瘡回診へも参加していました。当院では、豊富な症例に対する診療時間の配慮、家族からの情報収集と家族への説明、地域の臨床現場における common disease と rare disease の理解、重症神経難病に対する緩和ケア、長期療養患者の QOL 向上に向けた様々な支援、基本的なカウンセリングの技術、チーム医療の中での医師の役割、地域の医療・介護・福祉資源利用についての調整・支援などを学ぶことができます。特に当院が大切にしている多職種協働やチーム医療の重要性、メディカルスタッフから学ぶことの大きさ、医師のリーダーシップがどれだけの影響力を持っているのかを学んでいただければ幸いです。大学病院や地域の基幹病院との連携が強く、専門病院とかかりつけ医の二つの側面を持つ当院において、当院での地域医療実習が少しでも学生教育のお役に立てるのなら幸いです。当院で実習を受けた母校の医学生が卒業後県内に定着し、将来地域医療の現場で共に仕事ができることをいつも楽しみにしております。

理事長 中澤 宏之

◎高知県立大学看護学部臨床実習 在宅看護実習受け入れについて

今年度はコロナ禍での在宅看護実習となり、実習期間が 1 クール 3 日と大変短い実習期間でした。限られたその中で、在宅療養者のケアマネジメントサービス、ケアの調整を学び様々な職種と協働していくことの重要性を学び、またステーションの運営、経営管理についても関心をもち、多くの質問がありました。その中から、自分たちの看護を振り返る事ができる良い効果となっています。学生さんと訪問先に向かう車中では、利用者さんの抱える問題についてはもちろんのこと、看護の道を選んだ思いや葛藤など真剣に話を聞くこともよくありました。卒業後一緒に働くことができたらと嬉しく思いながら実習を終わりました。

訪問看護ステーションおおそね管理者 近森 真由美

学校名	学科	研修内容	学年	期間	受入期間	人数
高知県立大学	看護学部看護学科	在宅看護	4	12日	2020.9.23～2020.11.13	8

◎高知中央高等学校看護学科専攻科課程「精神看護学」臨地実習について

精神科病棟では、ワーク・ライク・バランス推進活動の一環である若年層スタッフの人材確保と定着を目標とするとともに、学生を受け入れることで看護の質向上に向けたキャリアアップも目的に、平成28年より実習を受け入れています。

実習指導と精神科看護に自信を持つため毎年「保健師助産師看護師実習指導者講習会」に参加させていただいております。

去年の実習は、新型コロナウイルスのため受け入れするかどうかを最後まで検討していました。将来の医療従事者を育てるため受け入れることを決定しました。学生には感染に十分配慮し、実習していただき無事終了することができました。

臨地実習の目的は実習の場でしか体験できないことを経験する場です。学校で学んできた既習学習と結びつけ、看護の展開ができるようサポートし、少しでも精神科に興味を持ってもらえるよう指導にあたっています。実習生を受け入れることで看護師個々の看護の学びと成長に繋がり、看護の質の向上に繋がります。結果、患者さんへの看護サービスに繋がります。今後も実習指導者が増えるので、研修での学びをスタッフにフィードバックし自信をもって指導・対応が出来る精神科病棟にしていきたいと思っております。

5病棟看護主任 小松 匡輔

学校名	学科	学年	期間	受入期間	人数
高知中央高等学校	看護学科専攻科	2	30日	2020.7.6～7.17 2020.9.3～9.16 2020.9.17～10.2	12

◎理学療法での実習生の受け入れについて

本年度は高知県の高知リハビリテーション学院と愛媛県の河原医療大学の2校から実習生を1名ずつ受け入れていましたが、新型コロナウイルスの全国蔓延により、2021年6月下旬以降、受け入れを見合わせております。受け入れにあたり、患者様・ご家族様をはじめ、他部署のスタッフのご協力には、深く感謝いたします。

当院での実習は、他施設ではあまりみられない神経難病をはじめ、内科、精神科と多岐にわたり、それぞれの疾患の理解を深める貴重な機会となっています。また、知識・技術面だけでなく医療人として成長し、よりよい理学療法士を目指すべく、スタッフ一同で後進育成に取り組んでいくことを心がけています。また指導者自身も、教えることで、気づきや学ぶことも多々あり、個々の研鑽の機会となっています。

一日も早く新型コロナウイルスが落ち着き、また安心して実習が再開できる機会がいただけるように祈りつつ、受け入れ側としての指導力向上に努めて参りたいと思います。

診療支援部リハビリテーション課理学療法室
理学療法室室長 中川 圭子

理学療法臨床実習

学校名	学科	学年	期間	受入期間	人数
河原医療大学校	理学療法学科	4	8週間	2020.4.19～6.11	1
高知リハビリテーション学院	理学療法学科	4	6週間	2020.5.10～6.21	1

◎作業療法での実習生の受け入れについて

本年度、作業療法部門では、土佐リハビリテーションカレッジより、精神障害領域（デイケア部門含む）において実習を受け入れました。

臨床実習は、実習生が作業療法の基本的技術や管理運営に必要な知識・技術を習うことであり、習った技能を自身の技能として実践できるようになるための体験型の学習過程です。この学習過程によって、学生は自己の能力で、対象者の作業療法の基本的な実践ができるようになります。そのため、実習中は精神科・精神疾患について理解を深め、入院中から退院後の地域生活をどのように送っていくか、退院後再発せず地域で生活していくためにはどうすべきか、就学や就労をするためには何が必要か等、患者さんと共に考え、患者さんの意思を尊重しながらどう支援していくかを考えてもらっています。今後も実習指導を通じ、後輩育成はもとより、私たち作業療法士として成長する貴重な機会となっていることを認識し、積極的に教育へ携わり、共に成長・発展したいと考えています。

診療支援部リハビリテーション課作業療法室
作業療法士 今城 恵理

精神科デイケア臨床評価実習

学校名	学科	学年	期間	受入期間	人数
土佐リハビリテーションカレッジ	作業療法学科	4	3週間	2021.2.4～2.24	1
土佐リハビリテーションカレッジ	作業療法学科	2	5日間	2021.3.22～3.26	1

2020年度 院内学術研修会

	開催日	内 容	講 師	参加者
1	4月	eラーニング 個人情報・プライバシー 第1回 本人・家族との情報のやり取り 第2回 医療従事者間の情報のやり取り 第3回 行政機関等との情報のやり取り 第4回 情報漏えい事故	eラーニング	172名
2	5月	eラーニング 医療安全の基本を知る 第1回 安全を優先させる 第2回 インシデントレポート 第3回 インテクニカルスキル 第4回 医療安全の3本軸 準備実施と判断意思決定	eラーニング	185名
3	6月	eラーニング 聴く力 第1回 あなたは本当に「聴けて」いますか 第2回 聴く力を磨く 3STEP-STEP1 基本姿勢 第3回 聴く力を磨く 3STEP-STEP2 話を深めるスキル 第4回 聴く力を磨く 3STEP-STEP3 信頼を得るスキル	eラーニング	184名
4	7月	eラーニング 認知症看護 講義 1 認知症とは何か：病態、治療について 第1回 認知症の知識 1：認知症とは 第2回 認知症の知識 2：認知機能障害が日常生活に及ぼす影響 第3回 認知症の知識 3：主な原因疾患と治療 第4回 認知症の知識 4：薬物療法における看護 第5回 認知症の看護に関する知識 1：薬物療法における看護 2 第6回 認知症看護に携わる看護師からのメッセージ	eラーニング	181名
5	8月	eラーニング 医療安全の基本を知る② 第1回 信頼関係のヒントーかけがえのないひとー 第2回 医療安全の最近の話題：Second Victim 第3回 医療安全の最近の話題：レジリエンス	eラーニング	183名
6	9月	eラーニング 患者相談・苦情対応 第1回 訴えを分類する 第2回 ストーリーを把握する 第3回 真のゴールを探す 第4回 実行し問題を解決する	eラーニング	184名
7	10月	eラーニング アウトブレイクを防ごう（通年編） アウトブレイクを防ごう MRSA編 アウトブレイクを防ごう CRE編	eラーニング	184名

	開催日	内 容	講 師	参加者
8	11月	eラーニング 日常の看護ケアで考える倫理 第1回 倫理を学ぶことがなぜ必要なのかー医療の質と臨床倫理 第2回 医療における倫理原則を考える 第3回 意思決定を支える看護師の役割 第4回 組織で取り組む臨床倫理 臨床倫理委員会と倫理事例検討	eラーニング	185名
9	10月 から 12月	eラーニング 行動制限最小化研修① 精神科の入院に至るまでの行動制限を中止に	eラーニング 精神科部長 玉元 徹	186名
10	12月	eラーニング アウトブレイクを防ごう（秋冬編） インフルエンザ ノロウイルス	eラーニング	184名
11	1月	eラーニング 薬剤の基礎知識 安全管理が必要な医薬品 第1回 医薬品の管理（規制区分） 第2回 ハイリスク薬	eラーニング	184名
12	2月	eラーニング 医療ガス安全講習会 ～医療ガスボンベに関わる事故から学ぶ～	eラーニング 四国アセチレン工業 (株) 高知営業所 所長 櫛田正利氏	182名
13	2月 から 3月	eラーニング 行動制限最小化研修② 入院中の行動制限について ー精神科病棟と非精神科病棟の違いも含めてー	eラーニング 精神科部長 玉元 徹	183名
14	3月	eラーニング 最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法 第1回 褥瘡の国際的定義と褥瘡の予防 第2回 褥瘡の予防と治療への介入 第3回 創傷のアセスメント 第4回 トピック 医療関連機器圧迫創傷 スキン・ケア	eラーニング	181名
15	3/4 (木)	第10回 看護部チーム会活動の振り返り	看護部チーム会	27名 アンケート 提出者26名

2020年度 院内看護部研修会

	開催日	内 容	講 師	参加者
1	7/13 (月)	新人研修 看護記録 卒後1年参加必須	5病棟看護主任 小松 匡輔	7名 アンケート 提出者6名
2	7/15 (水)	eラーニング 看護補助者対象講義～実践編～ 移動の援助に関する基礎知識と技術 安全に関する基礎知識と技術	eラーニング	27名 アンケート 提出者27名
3	8/5 (水)	eラーニング 看護補助者対象講義～実践編～ はじめに/看護補助業務を実施する時のポイント 感染対策に関する基礎知識と技術	eラーニング	27名 アンケート 提出者27名
4	9/9 (水)	新人座談会 新人看護師の振り返り 卒後1年～2年は参加必須	看護部教育チーム	4名
5	9月 から 12月	身体拘束について 不随意運動について	DVD	65名
6	10/7 (水)	包括的暴力防止プログラム(CVPPP)	5病棟看護師	16名 アンケート 提出者16名

第10回 看護部チーム会活動の振り返り

2021年3月4日(木) 17:30 ~ 18:00

在宅医療支援センター・センターホール

医療安全対策室

医療安全管理者 大黒 千明

2010年(平成22年)3月に「看護部チーム会」として7つのチームが発足し10年が経ちました。本年も「第10回看護部チーム会活動の振り返り」が開催されました。本年度は「新型コロナウイルス感染症」という未曾有の感染症の流行により、感染対策の強化や行動制限を余儀なくされた中、十分な活動はできませんでしたが、各チームが年間の課題や目標を達成するために取り組んで来ました。

「医療機器チーム会」は発足以来、「機器の洗浄」や「人工呼吸器回路のディスプレイ」「安全機能付針の導入」など、さまざまな業務改善を行ってきた結果、チームの目標が達成できました。今後、新たな医療機器、機材に関する課題が生じるまで、2020年度をもち、活動を一時休止することになりました。

2021年度は「看護部チーム会」が1減となりますが、ミッションステートメントである「患者ファースト」のもと、3安(安全・安心・安楽)な医療・看護を提供できるよう、他職種の協力を得ながら活動していきます。

教育チーム会

外来看護主任 西野 光世

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行で、予定していた研修会はほぼ中止となりました。その中でも感染リスクをさげ開催できたのが、10月の「CVPPP」です。その他はeラーニングでの研修となりました。また「身体拘束」と「不随意運動について」のDVDを、各病棟・外来へ回覧し視聴しました。

新人研修は、看護部長・教育師長と新人3名が各病棟を回り、様々な体験をしました。病棟の特徴に沿った看護・技術を1日のスケジュールに沿って行い、実際にふれる事で色々な気づきがあったと好感触でした。また、違ったかかわりを持つ事で、指導する側もステップアップができ、お互い大変良い経験になったとのことでした。

新人座談会は9月と11月の2回を予定していましたが、コロナ禍のため9月のみの開催となりました。新人の歓迎会も今年度はできず、意見を聞く機会も少なかったと思います。翌年3月に予定していた振り返り実技は、各病棟での確認になりました。

新型コロナウイルス感染症の状況によりますが、次年度の予定として、4月・5月に新人実技研修(採血・注射・吸引・オムツ交換・体位変換・車椅子移乗等)を行い、早くから実践できるようにと計画しています。尚、今年度初の試みで行った新人による外来での職員健診時の採血を、今後も続けていきたいと思っています。今年度は研修会もほとんどできず、教育チーム会としての活動も思うようにできませんでした。次年度は感染症に留意し、職員の学びに貢献できるよう、活動していきたいと思っています。

医療安全チーム会

2 病棟看護師 田井 計行

1) 指さし呼称の徹底

チェックシートを作成し、看護師・看護補助者共に項目毎に毎月各自でチェックを行うようにしました。しかし、実際に声出ししながら行っている姿は少ないように思われました。薬の出し忘れや入れ間違い、誤薬防止など、今後も継続して指さし声出し呼称の周知徹底を行っていきます。

2) 配薬カートの使用

本年 1 月より各病棟でデモ器を試用しています。誤薬も無く、定期処方を配薬カートにセッティングしているため、毎日の配薬箱の薬出しがなくなり業務が短縮できた等の良い意見もありました。カートの置き場所に困る、薬の出し忘れや入れ間違いがあった等の意見も聞かれました。将来的に導入に向け検討を続けていきたいと思えます。

3) インシデント報告書の改善による報告件数の増加

パソコン用、手書き用の 2 種類を作成、書式を簡素化することでインシデント報告件数が増えました。さらに病棟での申し送りに医療安全対策室のメンバーが参加するようになり、このことでインシデント報告に対する意識が上がったのではないかと思います。

4) 各病棟の物品配置の統一

他病棟へ応援や異動があった際に物品の収納場所がわかりにくいため、各病棟共通で使用する物品はできるだけ同じ場所に収納できるように各病棟で収納場所、物品を調査しました。今年度は統一までには至りませんでした。早期統一に向け継続して検討していきたいと思えます。

来年度も指さし声出し確認の徹底を中心に、継続して安全管理意識の向上を目標に活動していきたいと思えます。

洗浄・医療機器チーム会

3 病棟看護師長 井土 芳恵

今年は 3 つの議題を検討しました。

- 1) 各階のパイピング使用状況と管理について
チームのメンバーが各階のチェックを行い、不必要時物品の収納場所の検討をしました。
- 2) 翼状針の針刺し事故があり、翼状針の針刺し防止の安全機能をチームのメンバーが病棟で実際に物品を使用して、安全機能の周知に努めました。
- 3) チーム会継続の有無について検討しました。

チーム会発足の経緯について振り返ってみると、第 1 回洗浄・滅菌チーム会は平成 22 年 3 月 2 日に開催されています。かれこれ 10 年になります。

チームは「洗浄、滅菌業務に関する現場の意見を看護部長に提案する。チームとして意見を出して業務等の見直し、改善すること。」を目的としていました。

取り組みを継続していく中で改善できたことは、

＊ 医療機器洗浄、滅菌の外部委託への移行

＊ 人工呼吸器回路の DISPOS への移行

11 年前は看護師がすべて医療機材をオートクレーブで滅菌し再利用していました。人工呼吸器回路も交換の度リークなどのトラブルが発生し、今では考えられないほどの業務量でした。他さまざまな業務改善を行うことを継続したことでチームの目的は達成することができました。今後は新たな医療機器に関する課題が生じた時に、病棟・師長会・臨床工学技士を中心に速やかに対応していきます。

最後に発足から現在までチームに携わって活動された皆さんや、安全・安心に業務を行う上で看護部の大きなサポートをして頂いている臨床工学技士の森本氏にお礼を申し上げます。

記録チーム会

5 病棟看護主任 大崎 浩徳

- フェイスシートの入力には患者カードの内容を移すだけで、基本情報と入院時情報だけになっている。実際、活用すること自体あまりないとの意見が各病棟から出たため、師長会でも検討していただき、結果、フェイスシートについては、退院時サマリーにも活用しているので、現状のまま可能な限り入力するようになりました。また、続柄欄には息子・娘ではなく、長男・長女といった正しい記載の徹底をお願いしました。
- 新人ナースへ記録について困ったことはないかと尋ねましたが、各病棟で指導チェックが行われているため、新人からは特に意見は聞かれませんでした。
- 退院サマリーは定期的入力だけでなく、変化が起きた時に入力することで、突然の転院や退院に使用でき、また、経過を振り返る際にも活用できます。
- 退院時チェックリストの統一に向けて、特殊疾患病棟用に作成しました。全病棟の統一を検討しましたが、精神科病棟は精神科特有の項目がある点やこれまでのチェックリストの方が使いやすいため継続することになりました。

来期は機能評価受審も控えているため、入院時チェックリストの統一と、記録の充実、指摘し改善されたことが徹底して行えているか確認していきたいと思います。

感染対策チーム会

2 病棟看護師 西田 真衣

令和2年度は、前年度からの手指消毒の強化を引き継ぎ、新型コロナウイルス感染症対策を主に活動してきました。面会制限のある中、治療上必要な用件で外出泊を行う患者や、面会を希望する家族へ、来院時の手指消毒やマスク着

用の声がけと、検温を徹底するよう全職員に周知しました。職員へは、出勤時の体温測定の徹底と体調不良時の受診や自宅療養を勧め、県外への移動や会食への自粛など、行動制限についても各部署で声がけを行いました。

新型コロナウイルス発生によってマスクや手袋、消毒物品やエプロンの不足もあり、物品の入荷状態を見ながら、吸引時の手袋を従来のものから変更するなど、職員の感染対策をしつかり行えるよう適宜対応していきました。

そして、前期からガウンテクニックマニュアルを作成し、11月からは新型コロナウイルス感染症発生時の対応として、ガウンテクニックの指導を毎週火曜日に行い、看護部全員が受講しました。また、新型コロナウイルス感染症が発生したと仮定したシミュレーションを各病棟で行い、感染者や濃厚接触者がいる中での動線の確保や、ケアが困難となる場合はどうするか等を検討して来ました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策が主であったため、来年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて臨機応変に活動していきます。

褥瘡対策チーム会

5 病棟看護師 北村 篤子

現在、褥瘡を保有している患者さんは、全病棟で4名（リスクあり2名）となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、高知赤十字病院・形成外科、吉本皮膚科の往診依頼は行えない状況にありますが、幸いにも重症褥瘡患者の発生なく経過しています。

毎週の褥瘡回診では、褥瘡経過に合った処置方法と悪化予防策を検討し、理学療法士と情報共有し、患者の個別性に合ったポジショニング方法や適切なクッションの選択等、専門的な意見を聞き、褥瘡予防と対策を継続して行っています。チーム会の検討事項としては、継続して

行っているポジショニンググッズの選択、有効な(リース)クッションの利用方法と管理方法、寝具・紙オムツの検討、エアマット稼働状況等について検討しています。

(株) モルテンよりポジショニング・クッションの提案と説明があり試用し検討しましたが、現在使用中の(株) ケープのクッションの使用方法が定着しているため、今後も継続していくか検討することになりました。

クッションの管理方法については、管理表を作成し各病棟にて月毎にチェックを行います。今後も管理方法やチェック体制について検討していく必要があります。

オムニマット(ベッドマット)については、薄く、寒く、寝心地が悪いなどの意見があり、(株) ワタキュー・セイモアと一緒に、オムニマット以外のマットがないか検討中です。

(株) モルテンより、快適衛生まくら(ドリーマ)の提案と説明があり、現在使用している枕に比べてサイズが大きく、寝返りしても型崩れせず安定感があるという利点があるため、契約更新時期に変更できるかを確認する予定です。

1500ml 吸収する尿取りパット(エクセレント)について療養病棟で試用すると、吸収量が多いため明朝までオムツ交換の必要がない。その反面、スキントラブルの予防が必要です。特殊疾患病棟でも、新型コロナウイルス感染症の発生や災害に備えて、オムツ交換回数を少なくするために夜間のみ数人に使用しています。

エアマット稼働状況については、エアマット台数は病院所有・リースの計 47 台ありますが、フル稼働中です。まだまだ不足している状況のため、今後も検討が必要と思われます。

最後に、現在(令和 3 年 3 月)リースクッション全 218 個中 185 個使用、エアマット 47 台フル稼働中との結果から、スタッフの褥瘡予防に対する意識の高さが現れているように思いました。新型コロナウイルス感染症の影響に

より、研修会などの機会が減っていますが、褥瘡評価表(DSIGN-R)の改訂がされたなど、オンライン研修等にも参加し、更なる褥瘡予防・対策の知識、技術の取得に努めていきたいと思えます。

摂食・嚥下チーム会

5 病棟看護師 玉木 香恵子

今年度の活動として

- お食事廻診の対象者がいない時もありましたが、言語聴覚士、管理栄養士、看護師が一度に会することで同時に検討し、食形態や姿勢、援助方法を提供することができました。
- チーム発足より毎回チーム会に言語聴覚士が参加していました。本年度より業務の都合で不参加となりましたが、これからも関わりを繋げて行くため相談しながら、まずは最近看護師が行えていない頸部聴診を行うことにしました。言語聴覚士よりチーム会メンバーが指導を受け、その後各病棟で実施していくようにしました。

毎回、演題発表を行っていた「四国摂食・嚥下障害研究会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて中止となりました。来年度は高知県での開催のため発表準備を行わなければならないと思っています。

嚥下障害があると十分栄養や水分が摂食できなくなり、誤嚥性肺炎や窒息を引き起こしてしまう可能性があります。今後も患者さんの嚥下状態にあった食事の提供と、少しでも美味しく食べていただけることを目標に活動をしていきたいと思えます。

業 績

2020 年度 業績

◎講演（専門）

- 1) 玉元徹：囑託医相談
高知県中央東保健所
9月18日 2020

◎講演（一般）

- 1) 中澤宏之：なぜ認知症の早期発見、初期対応が大切なのか
認知症予防セミナー&チャレンジプログラム
高知市 9月19日 2020
- 2) 中澤宏之：在宅医療・介護連携推進事業と医師会の関わりについて
明日葉会講演会
香南市 11月13日 2020
- 3) 中澤宏之：難病に関する基礎知識Ⅰ・Ⅱ
令和元年度難病患者等ホームヘルパー養成研修
高知市 11月29日 2020
- 4) 速瀬啓純：新型コロナ肺炎について
浄土真宗高知北組僧侶研修会
明願寺 南国市 12月16日 2020
- 5) 中澤宏之：パーキンソン病の診断と治療
武田薬品医学教育会
高知市 1月21日 2021

- 6) 中澤宏之：レビー小体型認知症の病態および治療について
大日本住友製薬社内研修会
高知市 3月5日 2021

◎鑑定書

- 1) 中澤宏之
成年後見制度診断書 9月20日 2020
1通
- 2) 中澤宏之
成年後見制度診断書 12月28日 2020
1通

編集後記

2020年度はなんと言いましても、新型コロナウイルスの蔓延が世界的な問題になったことであります。東京オリンピックも開催延期となり、外出自粛ムードが高まったご時世で、当院の新規の患者さんが減っていないことは、当院の徹底した感染対策が世間に認められたという可能性や、自粛で精神的にストレスが溜まりそもそも精神障害の人口が増加した可能性、さらに石田先生の新患の受け入れの頻度が増して他院へ流れてしまうことを防いだ可能性が考えられます。他施設などは新型コロナウイルスの感染が少なからず生じていたにもかかわらず、当院は職員の感染者は一人もなく、本年度を越せたことは感慨深いものがあります。医療安全対策委員のメンバーとりわけ大黒師長さんや検査の小松主任さんがこれまで培ってきた感染対策の風土が根付いていたからこそ職員一丸となって徹底した対策ができたものと考えられますし、素晴らしい功績で尊敬されるべきことと思います。また、入院患者さんや精神科デイケアや通所リハビリテーション室および訪問看護ステーションおおそねの利用患者さんの感染も一人もおられないように記憶しております。みなさんの日頃の頑張りが結果を生んでいるようで、とても素晴らしいと感じております。

また、石田先生は入院にも貢献しておりまして、精神科病棟の患者さんの総数が飛躍的に伸びた年度でもあります。

さらに今年度で素晴らしいことは、インシデントレポート提出数が医局で10件も出ていることです。もちろんインシデントはないに超したことはないのですが、インシデントが全くない医局はないと言われていきますから、あつて当たり前のことを提出できていないだけなのです。これも大黒師長のご尽力でインシデントレポートを簡便なものへと少しずつバージョンアップしていただいたことが功を奏しているように思われます。

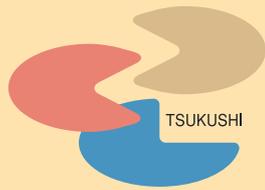
病棟の褥瘡の割合も相変わらず1.5%未満に抑えられていて病棟看護師の努力がにじみ出ております。看護学生実習の受け入れはコロナ禍でかないませんでした。他部署の実習は少し受け入れができたようで無事に終わったことが素晴らしいと思いました。

通所リハビリテーションの利用者数とデイケア利用者数が2019年度より若干減っていますが、コロナ禍でありながら、わずかな減少で済んだことはみなさんの日頃のサービスの質の良さを物語っているものと考えられます。訪問看護ステーションおおそねは、コロナ禍に関係なく総数が伸びましたが、これも職員の頑張りが実った結果ですので、素晴らしいと思いました。

最後に、今年度も年報作成にいつもご尽力いただいた事務部の竹嶋さんと各部署の執筆担当の方々に感謝申し上げます。

令和4年1月25日

年報編集委員長 玉元 徹



医療法人つくし会

南国病院

〒783-0004 高知県南国市大桶甲1479番地3
TEL 088-864-3137 (代) FAX 088-863-3070
www.nankoku-hp.or.jp